

2013 (平成 25) 年度
沖繩県平和祈念資料館年報
第 14 号



沖繩県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

2013（平成25）年度

沖縄県平和祈念資料館年報

第14号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

はじめに

沖縄県平和祈念資料館は開館以来、沖縄戦の実相・教訓を後世へ正しく伝え、平和を大切にす
る「沖縄のこころ」を世界へ発信し、恒久平和の実現に寄与するために様々な取り組みを行って
います。おかげさまで2013年10月には、550万人の来館者を達成することができました。

常設展示は、沖縄戦に至るまでの経緯及び実相と戦後における住民の戦災復興、平和を希求す
る人々の足跡などを展示していますが展示をより深く理解してもらうために、県内小中学校・高
等学校及び特別支援学校等の児童・生徒を対象に平和講話を提供しています。平成25年度は
146回実施しており、資料館での平和講話が児童・生徒の平和学習には欠かせない存在になっ
ています。

期間、テーマを定めて実施する企画展示では、ハワイへ移住した日系移民を中心に、戦前・戦
中・戦後と日米の双方に深くかかわったハワイウチナーンチュ（沖縄出身）移民のウムイ（想い）
を取り上げた第14回特別企画展「ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄」を開催しました。本年度の
取組の特徴として2度、シンポジウムを実施したことがあげられます。子や孫につなぐウムイ事
業において「いかに沖縄戦の教訓を次代に継承するか」をテーマにしたシンポジウムと特別企画
展の関連催事としてハワイから戦争体験者を招いてのシンポジウムですがどちらも好評を博し
ました。また、子ども・プロセス展示室では、沖縄戦、復帰、貧困、人権、紛争、国際理解等を
テーマとし、子どもたちの視点にたった企画展を実施しました。

教育普及活動では、学校連携事業として位置づけている「児童・生徒の平和メッセージ展」が
23回を数え、県内小中高等学校及び特別支援学校等の年中行事として定着しつつあります。平成
25年度は、「図画」「作文」「詩」の3部門で総数4,212点の作品応募がありました。「詩」部
門の小学校の部最優秀作品「平和ってすてきだね」は、「沖縄全戦没者追悼式」において朗読さ
れ、その平和へのメッセージは多くの参加者に感動を与えました。本年度の優秀作品は、県内各
地だけでなく、ハワイでも展示され好評を博し、県内外の多くの人々に「平和の心」を発信しまし
た。

平成25年度は、平成24年度よりスタートした「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」の最終年
度であり、350人分の戦争体験証言の編集を終え、県民の財産として本館映像ブースでの公開や
貸出をすでに開始しており、沖縄戦の歴史的教訓を風化させることなく次の世代に継承してい
きたいと考えております。

また八重山平和祈念館では、過去の沖縄戦と現在の紛争における子ども達をテーマとして第2
回「戦争と子どもたち」展を開催しました。さらに「絵と絵本で語り継ぐ沖縄戦」展や八重山地域
の平和学習の取組を紹介する展示会も実施しました。

最後に当館及び八重山平和祈念館を、「沖縄戦」の実相を通して世界の平和について考える“
場”として益々ご利用、ご活用いただくことを願っています。また、活動状況をまとめたこの冊
子も広くご活用いただければと思います。

平成26年5月

沖縄県平和祈念資料館
館長 國仲 功

沖縄県平和祈念資料館 設立理念

1945年3月末、史上まれにみる激烈な戦火がこの島々に襲ってきました。90日におよぶ鉄の暴風は島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し、20数万の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。

沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることにあり、その数は10数万におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追いつめられて自ら命を断たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像を絶する極限状況の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかってきた沖縄のこころの原点であります。

“沖縄のこころ”とは人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。私たちは戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立いたします。

1975年(2000年4月1日一部修正) 沖縄県

**表紙：平成25年度第23回児童・生徒の平和メッセージ展
図画部門小学校低学年の部**

最優秀賞「家族っていいな」

石垣市立大本小学校3年 当銘 由羅

目 次

沖縄県平和祈念資料館設立理念

はじめに

I 概 要

1 沿革	1
2 日誌(抄)	4
3 施設	6
4 組織	9
5 決算	15
6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会	16

II 調査研究事業

1 企画展のための研究調査	19
2 類似館調査	20
3 日本平和博物館会議	21
4 証言映像の編集	22

III 展示企画事業

1 常設展	23
2 企画展	
(1) 特別企画展「ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄」	25
(2) 企画展「平成25年度新収蔵品展」	26
(3) 子ども・プロセス企画展	27

IV 資料収集・活用事業

1 新収蔵品目録	30
2 資料貸出	
(1) 写真パネル・実物その他	32
(2) 証言映像の貸出	33
3 撮影・掲載等利用一覧	34

V 教育普及事業

1 教育普及行事	
(1) 児童・生徒の平和メッセージ展	37
(2) 親子ビデオ上映会	39
(3) 夏休み子ども向け企画	40
2 教育機関との連携	
(1) 平和講話	41
(2) 博物館学芸員実習	41
(3) 児童・生徒の職場体験	42
3 講座・講習会・研修会	
(1) 沖縄戦講座	43
(2) 沖縄県平和祈念資料館講習会	44
(3) 県立学校初任者向け講習会	44
(4) 島尻地区小中教職員10年経験者研修会	44
(5) 糸満市初任者研修会	45
(6) 県新規採用後期研修者への講義	45

VI 広報活動・出版等

1 JICA フェスティバル	46
3 刊行物	46

VII その他の事業

1 「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」	47
2 「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」	48
3 第14回特別企画展「ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄」ハワイ移動展 第2回「児童・生徒の平和メッセージ展 in Hawaii」	49

VIII	入館者状況	50
1	月別入館者数	
2	年度別入館者数 慰霊の日無料入館者数	
3	月別県内・県外学校、少年の船等団体観覧状況	
4	市町村別団体入館者数	
5	都道府県別団体入館者数	
IX	八重山平和祈念館	55
1	概要	
2	施設	
3	事業概要	
4	月別入館者数	
X	沖縄県平和祈念資料館友の会活動報告	62
1	活動内容	
2	申込方法	
3	申込条件	
4	平成25年度講話・ガイド活動実績件数	
5	平成25年度活動内容	
XI	関係条例・規則・要綱	64
1	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例	
2	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則	
3	八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱	
XII	資料	76
1	各種申請書・要項	
2	沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況	

I 概要

1 沿革

[沖縄県立平和祈念資料館] (旧館)

1972 (昭和47) 年沖縄県援護課を主管に資料館構想がつくられ、1974 (昭和49) 年に鉄筋コンクリート2階建て (延床面積1,003㎡) の館落成。管理運営を財団法人沖縄県戦没者慰霊奉賛会に委託して1975 (昭和50) 年6月11日に開館した。以来、沖縄戦について学び、平和について考える施設として活動を続ける。2000 (平成12) 年3月31日に閉館。

[沖縄県平和祈念資料館] (新館)

旧資料館の「設立理念」と「展示むすびのことば」の精神を継承し、平和の創造と人類の恒久平和に寄与する拠点的な施設として移転改築した。2000 (平成12) 年3月29日に開館記念式典が挙行され、4月1日に開館。

[歴代館長]

外間 盛治	2000 (平成12) 年4月	2002 (平成14) 年3月
阿波根 昌安	2002 (平成14) 年4月	2003 (平成15) 年3月
島袋 記美子	2003 (平成15) 年4月	2005 (平成17) 年3月
川満 茂雄	2005 (平成17) 年4月	2007 (平成19) 年3月
宮城 智子	2007 (平成19) 年4月	2009 (平成21) 年3月
大川 芳子	2009 (平成21) 年4月	2011 (平成23) 年3月
呉屋 禮子	2011 (平成23) 年4月	2013 (平成25) 年3月
上與那原美和子	2013 (平成25) 年4月	2014 (平成26) 年3月
國仲 功	2014 (平成26) 年4月	～

[主な事項]

1993 (平成5) 年度	12月7日	「平和祈念資料館移転改築事業」基本計画及び展示基本設計調査業務委託契約を沖縄県平和祈念資料館移転改築事業・基本計画及び展示設計調査業務共同企業体 (商工美術(株) (株)沖縄ノムラ) と締結する。
	1月31日	第1回「平和祈念資料館移転改築事業」推進検討委員会開催
1994 (平成6) 年度	10月12日	第1回「平和祈念資料館移転改築基本計画」検討委員会開催
1995 (平成7) 年度	3月28日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 設計プロポーザル・エスキス競技最優秀賞team DREAMに決定
1996 (平成8) 年度	6月25日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 展示設計プロポーザル競技により (株) 乃村工藝社を設計者に選定
	9月26日	第1回沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 監修委員会開催
1997 (平成9) 年	10月21日	県議会：建設工事請負契約議決
	10月22日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事着工
	12月22日	県議会：展示製作委託業務契約議決
	3月17日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) ・資料収集広報キャンペーンを開催 (巡回展、講演会)
1999 (平成11) 年度	6月30日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事完了
	3月29日	沖縄県平和祈念資料館 開館記念式典・内覧会挙行
	3月30日	沖縄県平和祈念資料館監修委員会 (最終) 開催
	3月31日	沖縄県立平和祈念資料館 (旧資料館) 閉館

2000(平成12)年度	4月1日	開館(一般公開始まる)
	5月28日	入館者10万人達成
	7月14日	「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」開催 主催：広島市、長崎市 (～27日)
	7月21日	九州・沖縄サミット首脳会合沖縄開催(～23日) アメリカ大統領「平和の礎」訪問
	3月23日	『沖縄県平和祈念資料館総合案内』発刊
	3月30日	『資料館学習の手引き』発刊
2001年(平成13)年	4月25日	入館者50万人達成
2002(平成14)年度	10月18日	入館者100万人達成
2003(平成15)年度	12月11日	入館者150万人達成
	1月10日	「ピース&ヒューマンライツフェスティバル」開催
2004(平成16)年度	7月24日	第1回ボランティア養成講座開始(～12月18日) 平成18年度まで
2005(平成17)年度	4月7日	入館者200万人達成
2006(平成18)年度	4月12日	沖縄県新採用職員研修
	6月1日	入館者250万人達成
2007(平成19)年度	6月21日	ミュージアムショップ開店(運営：沖縄県平和祈念財団)
	7月6日	入館者300万人達成
2008(平成20)年度	4月23日	八重山平和祈念館の正面展示パネル刷新
	10月9日	入館者350万人達成
2009(平成21)年度	5月19日	「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」事業(～2012年3月)
	11月18日	入館者400万人達成
	12月22日	常設展示のキャプション整備(英文表記追加)
	12月23日	常設展示室等映像機器等入れ替え(～3月31日)
	1月25日	特別収蔵庫空調機修繕入れ替え(～3月19日)
2010(平成22)年度	4月1日	収蔵品等整理業務委託(～H24年3月31日)
	7月15日	ピースメモリアルグッズ開発事業委託(～H24年3月31日)
	7月28日	皇太子行啓
	10月10日	沖縄県平和祈念資料館ジュニア版ガイドブック発刊
	10月30日	『詩集 写真の中の少年』を刊行
	2月3日	入館者450万人達成
2011(平成23)年度	10月20日	人数カウンター設置工事開始(～10月30日)
	3月6日	ノーベル科学賞受賞者鈴木章氏来館
	3月7日	合同企画展「2つの平和博物館の平和創造展」カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館にて開催
2012(平成24)年度	5月28日	入館者500万人達成
	7月13日	「子や孫につなぐ平和のウミイ事業」(～H24年3月27日)
	12月1日	沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 (～2015年3月)

[主な企画展等、その他催し]

- 2000(平成12)年度 企画展「寄贈・寄託展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展
- 2001(平成13)年度 特別企画展「収蔵品展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会(2回)
- 2002(平成14)年度 企画展「占領下のこども文化展」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2003(平成15)年度 企画展「銃後を護れー戦時下の暮らしと情報統制ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2004(平成16)年度 特別企画展「寄贈・寄託品展ー語りかける歴史の証言者たちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2005(平成17)年度 特別企画展「沖縄戦と疎開ー引き裂かれた戦時下の家族ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(3回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2006(平成18)年度 特別企画展「沖縄戦における住民動員ー戦時下の根こそぎ動員と失われた明日ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2007(平成19)年度 特別企画展「沖縄戦と戦争遺跡ー戦世(イクサ)の真実を伝えるためにー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座(2回)
- 2008(平成20)年度 特別企画展「カンポースクエスクサーー沖縄戦後混乱から復興へー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座、新収蔵品展
- 2009(平成21)年度 特別企画展「イクサユヌワラビ〜戦時下の教育と子どもたち〜」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「ひびけ!!平和創造のうた」、新収蔵品展
- 2010(平成22)年度 特別企画展『「沖縄のこころを世界へ」ー過去をつたえ、現在をみつめ、未来をひらくー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「平和音楽祭2010」(20回)、新収蔵品展、「平和教育の公開授業とパネルディスカッション」、「『NABAマラソンの道』〜走る道、逃げる道〜」展、「子ども・未来・メッセージ展」(台湾・沖縄交流事業)
- 2011(平成23)年度 特別企画展『「アメリカ世(ユウ)の沖縄」ー逞しくしたたかに生きてきたウチナンチューー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、新収蔵品展、大城弘明写真展「沖縄・終わらない戦後」
- 2012(平成24)年度・・・特別企画展『沖縄人が見た戦世とアメリカ世』児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「絵本が語りつぐ戦世」展

2 日誌（抄）（2013(平成25) 年度）

- 4月4～5日 平和講話等利用説明会
5月5日 親子ビデオ上映会
5月15日 民主党細野豪志幹事長来館
5月30日 救命講習会
6月8日 第1回子ども・プロセス企画展「戦争と教科書」開催
(～7月7日)
6月13日 「新収蔵品展」開催(～7月31日)
6月16日 第7回千羽鶴引き渡し式
6月18日 沖縄東中学校1名 職場体験(～20日)
6月22日 慰霊の日前夜祭のため、開館時間1時間延長
6月23日 第23回児童・生徒の平和メッセージ展開催(～8月23日)
開館時間1時間延長・親子ビデオ上映会
山本一太沖縄担当大臣来館
7月9日 地下収蔵庫燻蒸作業(～10日)
7月10日 資料館講習会(62名参加)
7月20日 第2回子ども・プロセス企画展「夏休み自由研究-沖縄戦について調べてみよう」開催(～9月1日)
7月27日 夏休み自由研究相談室(8/3)
8月1日 駐日韓国朴総領事来館
8月2日 第1回平和祈念資料館運営協議会八重山部会(本館)
8月8日 「子や孫につなぐ平和のウマイ事業」委託
8月10日 親子平和学習ツアー(8/10のみ)・ビデオ上映会(～8/11)
8月12日 学芸員実習開始(沖縄国際大学より3名 南九州大学1名)(～19日)
8月14日 オリバーストーン監督来館
8月27日 避難訓練
9月5日 平成25年度第1回沖縄県平和祈念資料館運営協議会開催
立教大学芸員課程見学実習開始(9/12)
9月11日 名桜大学スタディーツアー
9月20日 第3回子ども・プロセス企画展「戦争と人々の暮らし」開催
(～11月20日)
9月23日 国家人権博物館職員来館
9月28日 ウマイ事業シンポジウム
10月5日 台風23号襲来により11時より業務停止
10月7日 台風24号襲来により10時30分より業務停止
10月10日 第13回特別企画展「ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄」開催(～12月23日)
10月15日 JICA草の根技術協力「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」協力事業研修(カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館モニター副館長、チョムラン課員、カンボジア国立博物館ソピアップ課員、ソッカ課員4名参加(～17日))
10月26日 韓国人戦没者慰霊大祭
10月29日 入館者550万人達成
11月5日 韓国5.18記念財団インターン(朝鮮大学校3年生) ション・チャン・シ
さん研修開始(～1月10日)
11月7日 第20回日本平和博物館会議(～11月8日)
11月9日 JICA国際協力・交流フェスティバル2013「沖縄県平和祈念資料館事業展」展示(沖縄国際センター)(～11月10日)
第1回類似館調査(東京都)
・遊就館 ・昭和館
11月13日 資料保存機関連絡会

- 11月14日 高良倉吉副知事来館
一般収蔵庫高温高湿空調機修繕入れ替え(～1月31日4,935,000円)
- 11月30日 沖縄戦講座シンポジウム「ハワイ日系二世兵が見た戦争と沖縄」
12月1日 「カンボジア光と影Ⅱ」展開会(～12月20日)
12月4日 県外修学旅行誘致説明会(～12月5日 東京・大阪)
12月4日 インターンシップ向陽高等学校3名(～12月6日)
12月4日 第4回子ども・プロセス企画展「世界の差別・日本の差別 ―平等な社会をめざして(～1月31日)」
12月12日 県外修学旅行説明会(～12月14日 東京)
12月16日 台風被害による屋根瓦の修理(～12月21日)
1月11日 「平和文化」創造の博物館づくり協力事業専門家派遣(～19日カンボジア 真栄平)
1月13日 政策課題海外自主企画研修(於:ハワイ 功刀主査 ～1月29日)
1月16日 特別企画展八重山移動展(～2月26日)
2月12日 ケネディ駐日米大使来館
2月12日 第2回平和祈念資料館運営協議会八重山部会(八重山平和祈念館)
2月25日 第2回類似館調査(東京都・神奈川県 ～2月27日)
・しょうけい館 ・遊就館
・横浜・緑区米軍墜落事故平和資料センター
・和枝資料室 ・立川市歴史民俗資料館
・東京大空襲戦災資料センター
3月4日 インターンシップインターナショナルアカデミー2名(～3月6日)
3月7日 第5回子ども・プロセス企画展「沖縄へ命(運命・命令)承けて～沖縄戦の中の二人の知事～」開催(～5月24日)
3月13日 第2回平和祈念資料館運営協議会開催



沖縄県平和祈念資料館外観

3 施 設

(1) 平和祈念資料館の役割

ア 全戦没者への追悼と恒久平和の祈念

沖縄戦の実相と教訓を継承し、沖縄戦で亡くなられた20万余の国内外のすべての人々に追悼の意を表すとともに、世界の恒久平和を祈念する場とする。

イ 平和の発信と創造

沖縄の先達から受け継いだ「沖縄のこころ」を原点に、県民が主体的かつ積極的に平和の創造に関わり、平和を発信する拠点施設とする。

ウ 平和教育、平和交流及び人材育成

平和を求める人々の積極的な参加と交流を促進する各種の平和教育、平和交流等の活動を展開する。また、平和学習等に必要の人材育成を支援する。

エ 平和のネットワークの構築

平和をテーマとした内外の関連施設を中核として、学校、図書館等の公共の施設等と平和ネットワークを構築し、情報交換や平和研究等の人的交流を促進し、平和活動を支援する。

オ 平和のデータベースと調査研究

沖縄戦や平和に関する資料・情報及び調査研究の成果等をデータベースとして構築し、県民をはじめ、広く内外に提供するとともに、展示や事業活動を展開するための調査研究を実施するなど平和活動等に寄与する。

(2) 建設概要

ア 事業期間 平成5年度～平成11年度

イ 事業規模 地下1階地上2階 RC造り

敷地面積 約12,808平方メートル

延床面積 10,179平方メートル

ウ 総事業費 約7,291百万円(県債6,510、施設整備基金139、一般642)

工事費 4,900百万円

設計費 155 "

展示工事費 1,535 "

展示設計費 126 "

情報システム 171 "

その他 404 "

エ 主な施設

常設展示室(1～5室) 1,360平方メートル

企画展示室 255 "

子ども・プロセス展示室 518 "

情報ライブラリー 472 "

平和祈念ホール 245 "

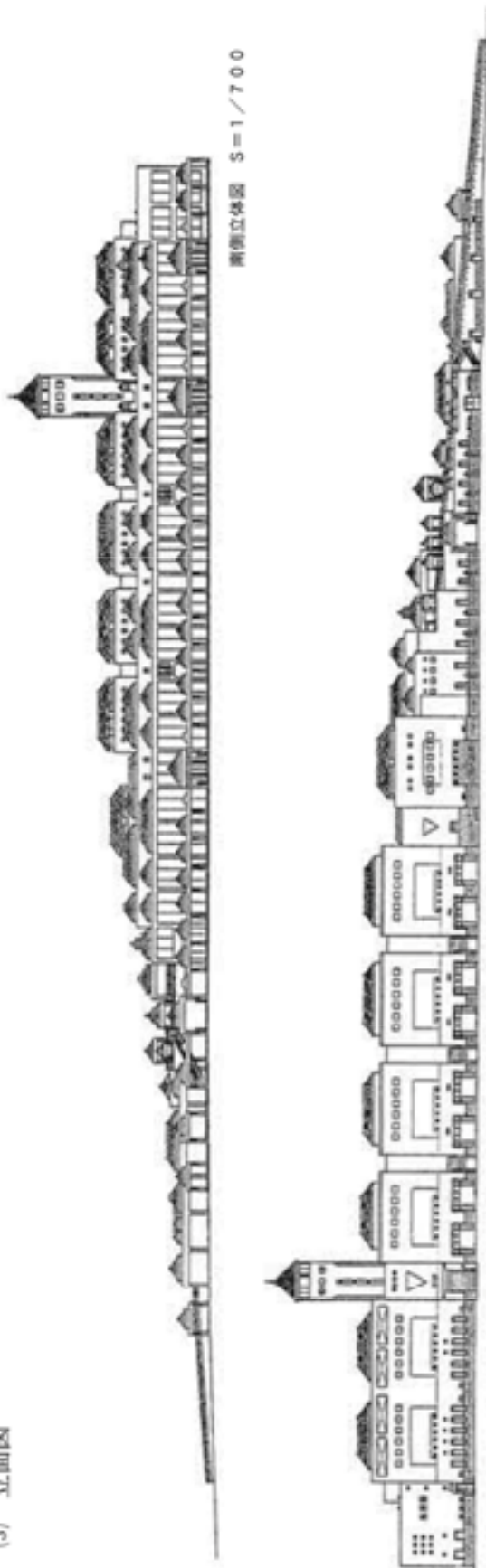
海と礎の回廊 256 "

会議室 200 "

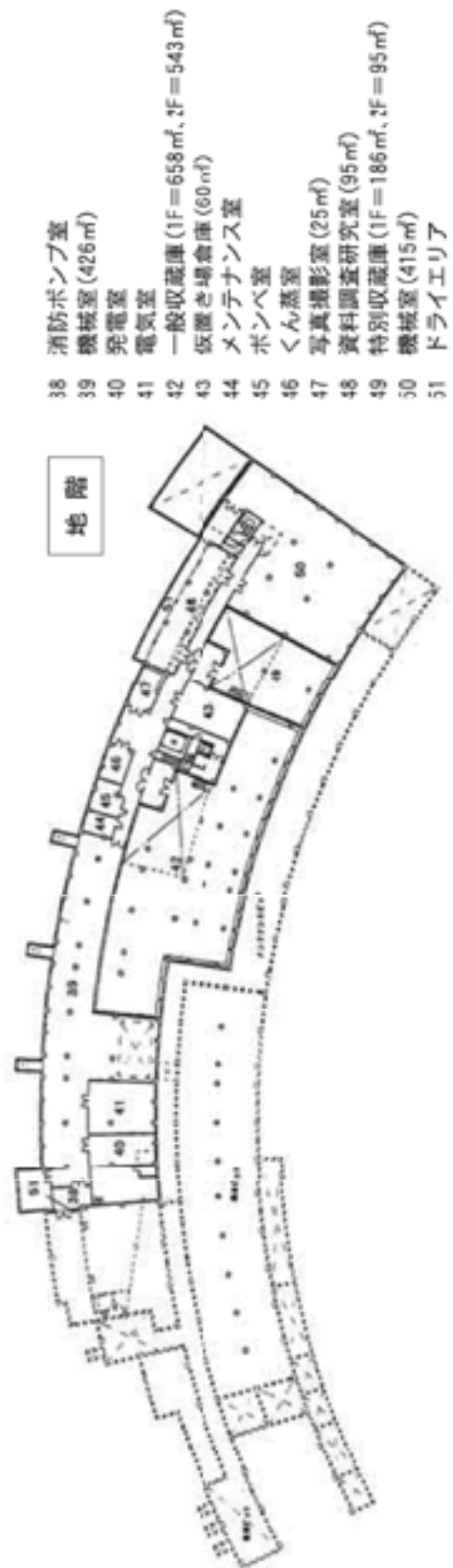
一般収蔵庫 1,201(1F、2F) "

特別収蔵庫 281(1F、2F) "

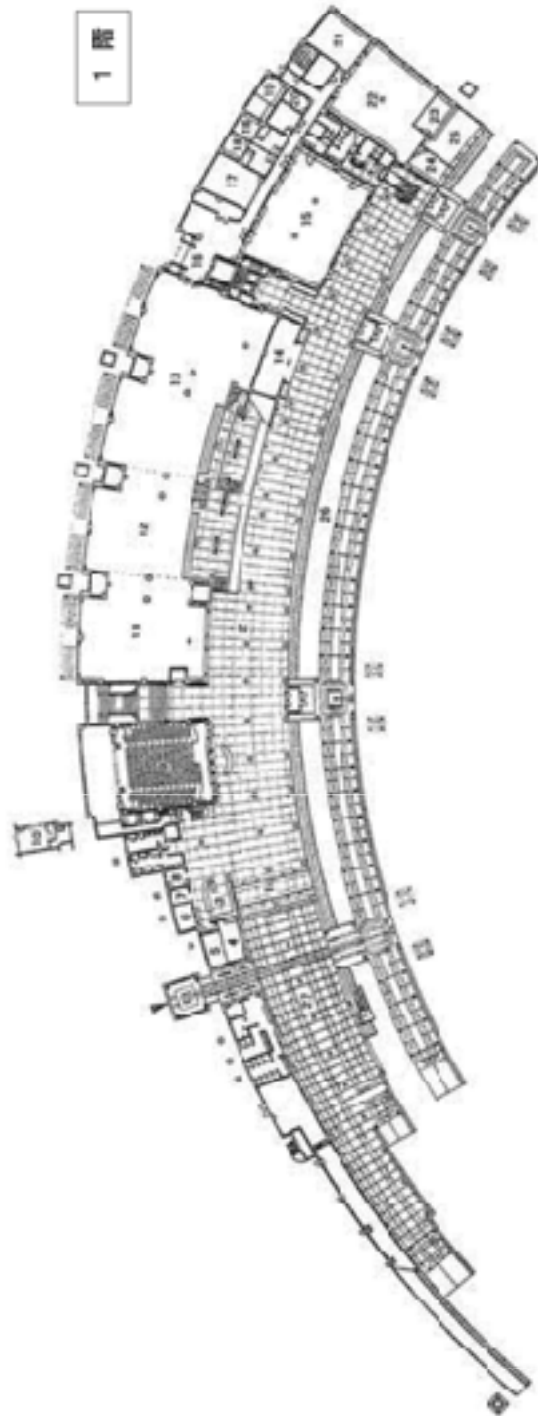
(3) 立面図



(4) 平面図

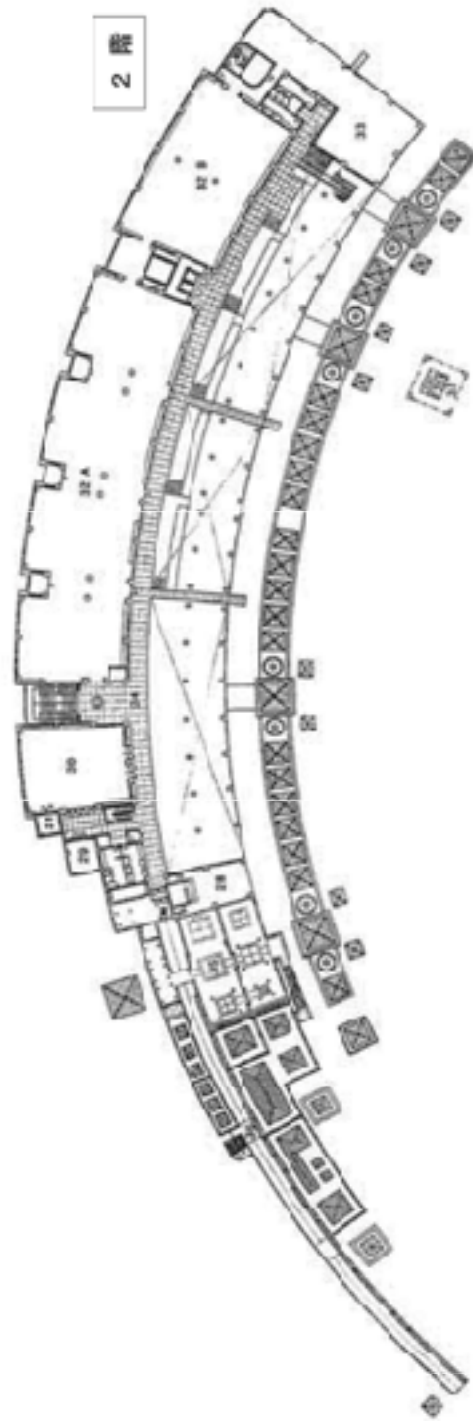


- 1 エントランス
- 2 ホール(1510㎡)
- 3 ミュージアムショップ(28㎡)
- 4 事務室
- 5 ボランテイア募集員室
- 6 授乳・教護室
- 7 TELルーム
- 8 ロッカー・自販機室
- 9 平河記念ホール(245㎡・231席)
- 10 楽屋・園藝室
- 11 子供展示室(285㎡)
- 12 プロセス展示室(338㎡)
- 13 情報ライブラリー(472㎡)
- 14 アルコーブ
- 15 企画展示室(255㎡)
- 16 尙料き室
- 17 情報処理室(49㎡)
- 18 職員休憩室
- 19 守衛室
- 20 給湯室
- 21 事務会議室(52㎡)
- 22 事務学芸員室(158㎡)
- 23 小会議室
- 24 録音室
- 25 応接室
- 26 中庭
- 27 ヒロテイエ



1階 s=1/700

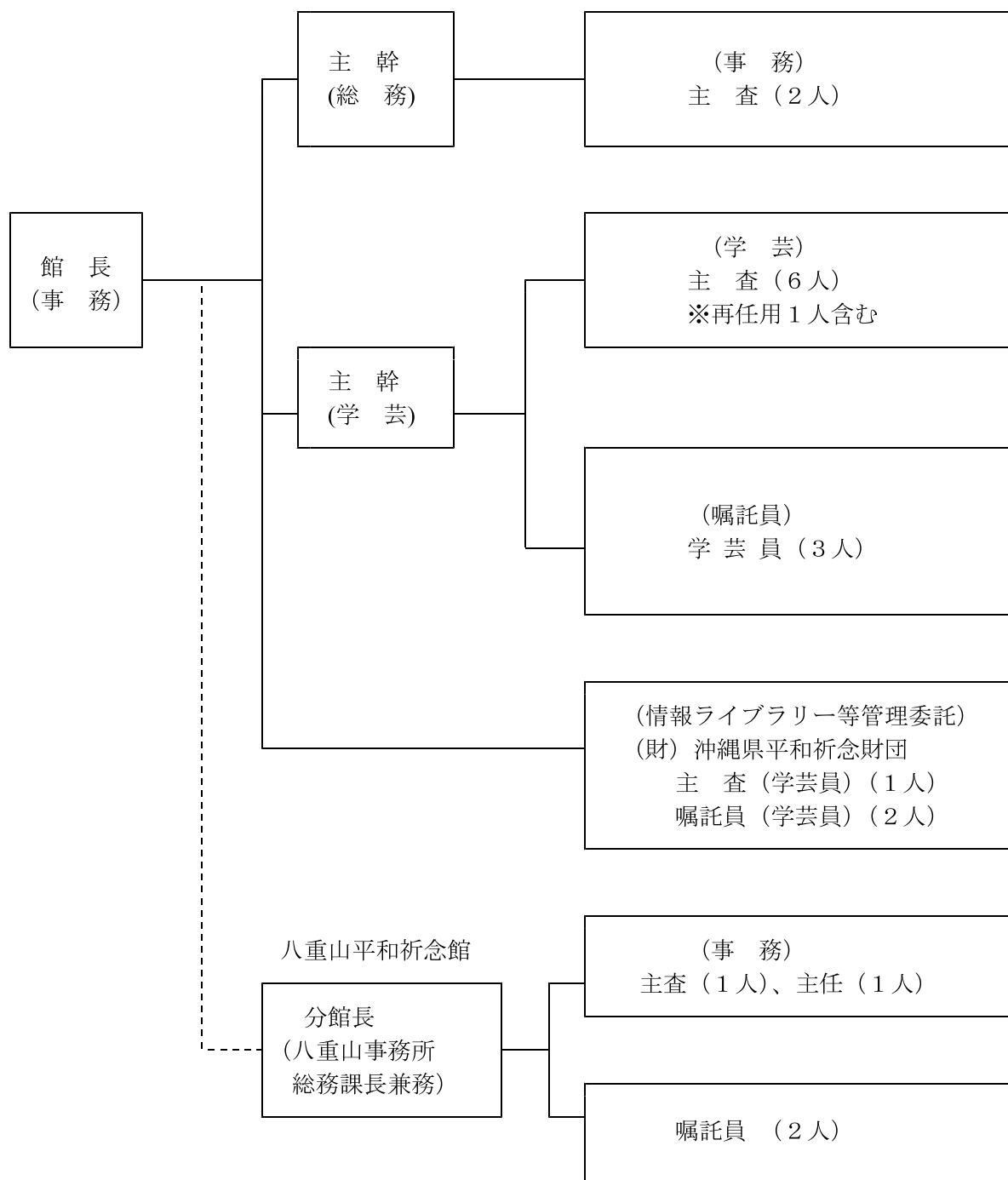
- 28 喫茶室(86㎡)
- 29 事務室
- 30 会議研修室(200㎡・100席)
- 31 調音室
- 32A 常設展示室 1~4 (957㎡)
- 32B 常設展示室 5 (403㎡)
- 33 海と磯の回廊(256㎡)
- 34 ギャラリー(373㎡)
- 35 テラス
- 36 外部スロープ
- 37 展望室



2階 s=1/700

4 組織

(1) 機構（平成26年4月1日現在）



*その他ビル管理会社の常駐委託職員

受付 (4人)、警備 (3人)、清掃 (2人)、機械設備管理 (1人)、

(2) 職員構成（平成26年4月1日現在）

職名	氏名	担当業務
館長	國仲 功	資料館業務の総理に関する事

総務

主幹	真志喜 健 (出納員)	管理運営に係る将来計画の策定に関する事項 予算、決算、監査の総括に関する事項 財産管理の総括に関する事項（財産の維持、保全補修等管理全般、金庫の鍵、公印保管等） 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 議会関係に関する事項 委託業者の監督調整等に関する対外的事項に関する事項 運営協議会に関する事項（公募・会議開催の庶務的事項） 土日祝日勤務割り振りに関する事項 その他庶務会計に関する事項
主査	徳嶺 かおり	給与の支払、諸手当の認定、任用等服務に関する事項 文書の收受、保管に関する事項 出勤簿、超勤命令簿等の管理に関する事項 需用費、役務費、使用料及び賃借料等の執行に関する事項 旅費、報酬、謝金に関する事項 決算に関する事項 公用車の管理に関する事項 消耗品、切手等の受払に関する事項 雑入に関する事項 共済事務に関する事項 その他庶務会計に関する事項
主査	棚原 盛健	出納事務に関する事項（日計表の確認含む） 施設・設備、財産の使用許可業務に関する事項 団体入館予約、入館者の日報月報等統計業務に関する事項 歳入事務（観覧料等）に関する事項（八重山平和祈念館含む） 委託料に関する事項 修繕料に関する事項 音声ガイド等音響機器の管理に関する事項 機器のリースに関する事項 備品の執行管理に関する事項 公有財産に関する事項 その他庶務・会計に関する事項

学 芸

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職 名	氏 名	担 当 業 務
主幹 (総括)	島袋 篤	学芸業務の総括及び学芸業務に関する事項 (主) 学芸員実習生の受け入れ等に関する事項 (主) 事業計画及び展示活動事業執行の統括に関する事項 (主) 運営協議会に関する事項 (委員の選任、運営及び課題) (主) 予算・決算・議会の資料作成に関する事項 (主) 管理運営の将来計画策定に関する事項 (学芸的事項) (主) 公的研修に関する事項 (主) JICA連携事業に関する事項 (副) 消防防災に関する事項 (副) 沖縄県資料保存利用機関連絡会議 (副) 平和講話に関する事項 (共)
主 査	真栄平 房佳	児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項 (主) 千羽鶴未来プロジェクト及び千羽鶴の受理に関する事項 (主) 常設展示室 (第3室) の管理運営に関する事項 (主) キャリア教育に関する事項 (主) 質問照会の回答担当に関する事項 (主) 子や孫につなぐ平和のウムイ事業に関する事項 (主) 子や孫につなぐ平和のウムイ事業展 (副) JICA連携事業に関する事項 (副) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) 特別企画展に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)
主 査	功刀 弘之	日系米国人版戦争体験証言収録事業 (主) シンポジウム (沖縄戦講座) に関する事項 (主) 国際協力調整に関する事項 (韓国学生受け入れ・平和人権施設及び財団会議韓国留学生・特別企画展等) (主) ソフトパワー事業に関する事項 (主) (年度途中) 提案展示会等への対応に関する事項 (主) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) JICA研修生への講義に関する事項 (共) 特別企画展に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)
主 査	新垣 誠	特別企画展の企画・立案に関する事項 (主) 要人・議員団・その他研修等案内及び割り振り (主) 常設展示 (子どもプラザ展示室) の管理運営に関する事項 (主) 情報ライブラリー活性化など活用促進に関する事項 (主) 常設展示室 (第1・第2室) の管理運営に関する事項 (主) 展示物等の撮影許可・著作権申請等に関する事項 (主) 日系米国人版戦争体験証言収録事業 (副) 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項 (共) JICA研修生への講義に関する事項 (共) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)

主査	福里 竜也	<p>県内小中高校生への平和講話等の対応に関する事項（主）</p> <p>友の会活動の支援・推進に関する事項（主）</p> <p>学校団体等の利用促進に関する事項（主）</p> <p>沖縄県地域史協議会の管理に関する事項（主）</p> <p>常設展示室（第5及び屋外）の管理運営に関する事項（主）</p> <p>類似館・次年度特別企画展調査に関する事項（主）</p> <p>日本平和博物館会議に関する事項（主）</p> <p>沖縄県資料保存利用機関連絡会議（主）</p> <p>資料館講習会の企画等に関する事項（主）</p> <p>児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項（共）</p> <p>JICA連携事業に関する事項（副）</p> <p>特別企画展の企画・立案に関する事項（副）</p> <p>収蔵資料（武器類・軍装品類・衣類・布製品・工具・農具類・写真、文書類・その他）の管理に関する事項（副）</p> <p>学芸員実習の講義に関する事項（共）</p> <p>JICA研修生への講義に関する事項（共）</p> <p>平和講話に関する事項（共）</p> <p>その他学芸業務に関する事項（共）</p>
主査	古謝 将史	<p>子や孫につなぐ平和のウミイ事業展（主）</p> <p>JICA連携事業に関する事項（主）</p> <p>常設展示（第4室）の管理に関する事項（主）</p> <p>夏休み親子平和学習に関する事項（主）</p> <p>証言映像・収蔵資料の貸出に関する事項（主）</p> <p>寄贈資料の受理、整理保存に関する事項（主）</p> <p>収蔵資料（武器類、軍装品類、衣類・布・工具・農具類・写真、文書、その他）の管理に関する事項（主）</p> <p>沖縄県博物館協会に関する事項（主）</p> <p>ホームページに関する事項（主）</p> <p>児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項（副）</p> <p>日系米国人版戦争体験収録事業（副）</p> <p>資料館講習会（副）</p> <p>JICA研修生への講義に関する事項（共）</p> <p>学芸員実習の講義に関する事項（共）</p> <p>平和講話に関する事項（共）</p> <p>特別企画展に関する事項（共）</p> <p>その他学芸業務に関する事項（共）</p>
主査 (短時間勤務)	呉屋 禮子	<p>「資料館だより」の編集・発行に関する事項（主）</p> <p>燻蒸・消毒の実施に関する事項（主）</p> <p>アニメ及び上映会に関する事項（こどもの日・慰霊の日）（主）</p> <p>アンケート分析、月ごとの総括に関する事項（主）</p> <p>『年報』等の発行に関する事項（主）</p>
嘱託員 (学芸員)	嘉手苺 春音	資料・収蔵品の整理・展示等学芸業務の補助に関する事項 資料等の送付に関する事項
	大城 健資	観覧者アンケート等入力・統計・分析に関する事項 会議室・ホール等の借用受付に関する事項 沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項
	渡名喜 琴音	HPの作成に関する事項 館内事業案内掲示など広報等に関する事項 その他上司の命に関する事項

委 託

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 査 (学芸員)	平田 守	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の管理運営に関する事項 沖縄戦の調査研究に関する事項 修学旅行・平和教育の講師、説明に関する事項 館長の命による業務に関する事項
嘱 託 員 (学芸員)	仲村 美奈子	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の管理運営等に関する事項 沖縄戦の調査研究に関する事項
	吉江 史扇	館長の命による業務に関する事項

八重山平和祈念館

職 名	氏 名	担 当 業 務
分 館 長	登野城 正一	分館の事務を処理し、所属職員を指揮監督すること。
主 査 主 任	新里 和也 加藤 祐樹	館の施設、備品等の維持管理に関する事項 契約事務、支出事務に関する事項 資料の寄贈、寄託関係に関する手続き事務に関する事項 その他、館の運営及び指示された事項
嘱 託 員	伊敷 幸江 迎里 円	展示物及び資料の収集、保存及び管理に関する事項 展示物及び資料の説明に関する事項 館の施設及び備品等の維持管理に関する事項 観覧料の収納事務に関する事項 その他八重山平和祈念館の管理運営に関する事項

(3) 人事異動（平成26年4月1日現在）

沖縄県平和祈念資料館

異動	職名	氏名	摘要
転入	館長 主査 主査 主査 主査	國仲 功 真志喜 健 棚原 盛健 福里 竜也 古謝 将史 呉屋 禮子	総務私学課行政情報センターから 労政能力開発課から 病院事業局（精和病院）から 豊見城南高校から 豊見城中学校から 福祉保健企画課から（再任用）
転出	参事兼館長 主幹 主査 主査 主査 嘱託	上與那原 美和子 稲福 淳子 宮城 哲夫 比嘉 正樹 上地 琢磨 吉江 史扇	総務部参事兼自治研修所長へ 高齢者福祉介護課へ 久米島高校へ 糸満市教育委員会へ 農林水産総務課へ 平和祈念財団へ

八重山平和祈念館（分館）

異動	職名	氏名	摘要
転入	主任	加藤 祐樹	新里和也の自治大学校研修に伴う 期間（4月～9月）

5 平成25年度 歳入歳出決算（本館のみ）

歳入

単位：円

	常設展示室	ホール等	ミュージアムショップ等	子や孫につながる平和のウムイ事業（沖縄振興特別推進交付金）	寄附金	不用品売払代	合計
資料館観覧料	53,523,440						53,523,440
資料館使用料		1,343,745					1,343,745
建物使用料			275,783				275,783
建物貸付料			838,425				838,425
寄附金							0
雑入			262,672				262,672
子や孫につながる平和のウムイ事業				11,048,012			11,048,012
不用品売払代							0
合計	53,523,440	1,343,745	1,376,880	11,048,012	0	0	67,292,077

歳出

単位：円

科目	管理運営事業	展示活動事業	子や孫につながる平和のウムイ事業				合計
報酬	260,400	5,840,135					6,100,535
共済費							0
賃金							0
報償費	12,000						12,000
旅費	279,780	858,550	229,810				1,368,140
需用費	39,937,297	658,838	19,457				40,615,592
役務費	1,749,758	208,116	8,249				1,966,123
委託料	48,760,272	17,491,000	13,552,500				79,803,772
使用料及び賃借料	6,240,905	1,600					6,242,505
工事請負費							0
備品購入費	44,625						44,625
負担金補助及び交付金	10,000						10,000
公課費	37,800						37,800
合計	97,332,837	25,058,239	13,810,016				136,201,092

6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会

(1) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会委員及び八重山平和祈念館部会委員名簿

(任期：平成24年9月15日～平成26年9月14日)

区 分	役職名	氏 名	現 職 名
学識経験者	会 長	島 袋 秀 光	更生保護法人がじゅまる沖縄評議員会議長
	委 員	金 城 正 篤	琉球大学名誉教授
	委 員	宮 里 正 子	浦添市美術館長
	委 員	鳥 山 淳	沖縄国際大学総合文化学部准教授
	委 員	石 堂 徳 一	石垣市文化協会事務局長
	委 員	大 城 将 保	新沖縄県史編集委員
	委 員	平 良 次 子	南風原文化センター学芸班長
	委 員	古 賀 徳 子	ひめゆり平和祈念資料館学芸係長
教育関係者	委 員	嘉 納 英 明	名桜大学教授
そ の 他	委 員	安 田 國 重	平和祈念資料館友の会長
公 募	委 員	青 山 恵 昭	美術家
	委 員	松 田 隆 仁	広報アドバイザー
	委 員	宮 城 明	画家、サン21プロジェクト代表

(2) 八重山平和祈念館部会委員名簿

代表区分	職 名	氏 名	現 職 名
教育関係者	部会長	嘉 納 英 明	名桜大学教授
学識関係者	委 員	石 堂 徳 一	石垣市文化協会事務局長
そ の 他	委 員	安 田 國 重	平和祈念資料館友の会長

(3) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会活動経過

■平成25年度第1回運営協議会

日時：平成25年9月5日（木） 14:00～16:00

場所：平和祈念資料館 2階会議室

内容：

(1) 議題

- ①平成25年度事業経過報告・事業計画について
 - ・平成25年度「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」
 - ・特別企画展の進捗状況
- ②平成24年度事業報告について
- ③平成25年度第1回八重山祈念館部会報告

(2) 特別協議事項

- ①沖縄県功労者表彰候補者における推薦基準の決定について

■第2回運営協議会

日時：平成26年3月13日（木） 14:30～16:30

場所：ホテルチュラ琉球 7階会議室

内容：

(1) 議題

- ①平成26年度事業計画（案）について

(2) 報告

- ①平成25年度事業実績について
 - ・子や孫につなぐ平和のウムイ事業報告
 - ・「ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄」ハワイ移動展報告
- ②平成25年度第2回八重山平和祈念館部会報告
- ③平成25年度類似館調査報告について

(4) 八重山平和祈念館部会活動経過

■第1回八重山平和祈念館部会

日時：平成25年8月2日（金） 14:00～16:00

場所：平和祈念資料館 事務会議室

内容：

(1) 報告

- ①平成24年度事業報告について
- ②台風17号により倒木したキナノキについて（経過報告）
- ③企画展で使用する展示ボードの購入について
- ④台風7号の被害について

■第2回八重山平和祈念館部会

日時：平成26年2月12日（水） 14:00～16:00

場所：八重山平和祈念館 会議室

内容：

(1) 報告

- ①平成25年度事業報告について
- ②前回部会の協議事項の処理状況について

- ・台風17号により倒木したキナノキについて
 - ・台風7号の被害状況について
- ③八重山平和祈念館の入館者数等について

(2)協議事項

- ①平成26年度事業計画について

Ⅱ 調査研究事業

1 企画展のための調査研究

[目的]

平成25年度 第14回特別企画展「ハワイ日系移民が見た戦争（イクサ）と沖縄（ウチナー）～ハワイウチナーンチュの沖縄へのウムイ～」の充実を図るために調査研究を行う。

- (1) ハワイ沖縄連合会，アリゾナ記念館，日本文化センター，ベテランズクラブ等などの収蔵資料の調査及び沖縄戦証言者収録
- (2) 県内各地の資料館や博物館、教育委員会及び図書館等などの収蔵資料の調査を行う。
- (3) 戦前・戦中・戦後（沖縄の本土復帰）のハワイ日系人（ウチナーンチュ）に関する書籍・レポートを中心に研究を行う。

[内容]

ハワイへ移住した日系移民を中心に戦前・戦中・戦後と日米の双方に深くかかわったハワイのウチナーンチュについての調査研究を行う。

- ・沖縄移民の歴史と背景
- ・真珠湾攻撃と日系人社会
- ・日系人強制収容所
- ・移民一世と二世のアイデンティティの違い
- ・二世の中の「純二世」「帰米二世」「帰日二世」の境遇と違い
- ・日系人部隊のはじまりと功績
- ・日系二世兵が体験した沖縄戦の証言
- ・ハワイからの沖縄復興支援の取り組み
- ・文化復興に向けての取り組み

[調査資料館等]

ハワイ沖縄連合会，アリゾナ記念館，ハワイ日本文化センター，米軍ベテランズクラブ
沖縄県公文書館，金武町教育委員会，宜野座村立博物館，南風原町立南風原文化センター，
うるま市教育委員会中央公民館，那覇市歴史博物館，うるま市立石川歴史民俗資料館，
沖縄県立博物館・美術館，沖縄県内各図書館，市町村教育委員会，琉球新報社，沖縄タイムス社，その他

[調査文献]

- 『沖縄県史1・7・8・910』『ハワイ日系人移民史』『アロハ年鑑』
- 『ハワイ日系パイオニアズ100の物語』『ふるさとを離れて 南風原町史第8巻』
- 『与那原町史 資料編 1 移民編』『ハワイ日系二世の太平洋戦争』
- 『あるハワイ移民の「真珠湾」「生みの国」と「育ちの国」のはざままで』
- 『二世兵士 激戦の記録』 その他20冊

2 類似館調査

本館の機能充実と有効活用を図るため、国内の類似施設(資料館・博物館等)を中心に、運営と展示の内容と方法、そして活動内容等を視察調査し、今後の当館の事業運営等に役立てる。

[期間] 平成26年2月25日(火)～2月27日(木) [調査館]

- ①遊就館
- ②しょうけい館
- ③社会福祉法人和枝福祉会「和枝資料館」
- ④横浜・緑区米軍機墜落事故平和資料センター
- ⑤立川市砂川学習館
- ⑥東京大空襲・戦災資料センター

[調査事項]

- ①組織・運営体制について：設立経緯、施設概要
- ②子ども向け展示の工夫について
- ③教育普及活動について
- ④その他
 - ア、琉球・沖縄関係資料等の有無について
 - イ、次年度特別企画展に関連する資料の有無等について

[調査者]

安田国重（沖縄県平和祈念資料館運営協議員）
島袋 篤（沖縄県平和祈念資料館学芸主査）
嘉手苺春音（沖縄県平和祈念資料館嘱託学芸員）



しょうけい館



米軍機墜落事故現場



東京大空襲・戦災資料センター

3 第20回日本平和博物館会議

日本平和博物館会議は、戦争の惨禍を人々に伝え、平和の実現に資することを目的とする博物館等が協力して調査・研究を行うことにより、相互の連携を図りつつ、平和推進事業の一層の発展を期することを目的とする。

[開催期日] 平成25年11月7日(木)～11月8日(金)

[開催場所] 国立女性教育会館(埼玉県)

[参加博物館]

- ・長崎原爆資料館
- ・川崎市平和館
- ・立命館大学国際平和ミュージアム
- ・大阪国際平和センター ピースおおさか
- ・広島平和記念資料館
- ・沖縄県平和祈念資料館
- ・神奈川県立地球市民かながわプラザ
- ・ひめゆり平和祈念資料館
- ・埼玉県平和資料館(事務局館)
- ・滋賀県平和祈念館(オブザーバー参加)
- ・舞鶴引揚記念館(オブザーバー参加)



[埼玉県平和資料館視察の様子]

[参加者] 上與那原 美和子館長 比嘉 正樹主査

[議事]

- ・協議題1「2015年に戦後70年の記念として共同事業を提案」
- ・協議題2「今後の加盟館増加への展望について」
- ・聴取事項について
- ・次回開催館の紹介
- ・その他

[視察]・埼玉県平和資料館 ・原爆の図丸木美術館

4 証言映像の収録・編集

沖縄住民の貴重な戦争証言を沖縄県平和祈念資料館情報ライブラリー等において活用するため戦争体験証言ビデオの収録と編集を行う。但し今年度は収録はなく、編集のみである。

[収録証言の内容]

1 5年戦争を生き抜いてきた方々の戦争体験や終戦後の生活の様子等

[平成25年度編集業務 対象・人数]

平成23年度に収録した与那国島及び周辺離島出身者21名の戦争体験証言映像を編集し、映像を公開。

[活用]

- ①平和学習・研究
- ②第4展示室及び1階情報ライブラリー等において編集映像を公開
- ③編集映像の貸出
- ④映像資料として保管

Ⅲ 展示企画事業

1 常設展

(1) 展示構成

常設展示は1階と2階の2つのゾーンで構成されている。

〔歴史を体験するゾーン〕

2階の「歴史を体験するゾーン」は、来館者が沖縄戦及び戦後の歴史的体験をとおして平和の尊さや戦争の悲惨さを知り、この歴史的教訓を次の世代へと継承していくねらいがあり、5つの展示室で構成される。

第1展示室「沖縄戦への道」

沖縄が日本の国家体制に組み込まれていく過程を琉球処分からアジア・太平洋戦争末期の沖縄戦前夜までの映像や写真パネルで解説する。

第2展示室「住民の見た沖縄戦―鉄の暴風―」

およそ3ヶ月に及んだ地上戦の経緯と住民犠牲の諸相について、映像と造形物であらわす。被弾した旧沖縄県庁の門柱や糸満市に現存する水タンクなど、破壊し尽くされ、瓦礫と化した街のようすを原寸で再現した造形物が沖縄戦の凄まじさを物語る。

第3展示室「住民の見た沖縄戦―地獄の戦場―」

空間全体が戦場をイメージして作られる。軍民入り乱れた戦場での住民犠牲の出来事を写真パネル、焼け焦げた衣服や当時の水が入った水筒などの実物資料を展示する。また、住民や日本兵の避難場所に利用された、ガマ(自然の鍾乳洞)とその中で起こった出来事が造形物で再現される。

第4展示室「住民の見た沖縄戦―証言―」

旧資料館の証言展示を踏襲しながら、新たに離島や北部の証言を加え、犠牲を強いられた一般住民の心の叫びを証言文と証言映像で紹介する。沖縄戦を直接体験した人々が重い口を開いて語ってくれた証言は、歴史の真実として心にじかに訴える。

ニュートラルゾーン

第4展示室と第5展示室との間にある壁面には、旧資料館から受け継いだ「展示～むすびのことば～」が掲げられている。

第5展示室「太平洋の要石」

終戦後の収容所生活から27年間の米軍統治を経て1972年5月15日に沖縄が日本復帰を果たすまでの住民のようすや政治状況を実物資料、写真パネル、造形物、映像などで展示する。米軍の沖縄統治の状況、土地闘争、基地に起因するさまざまな問題、復帰運動、さらには「太平洋の要石」と呼ばれて今日まで続く「基地の島」沖縄の実態が浮かび上がる。

これらの展示は、県民をはじめ、平和学習や平和交流、慰霊などで訪れた県外や海外からの来館者が沖縄の歴史的体験をできるように構成される。また、観光バスツアーなど、見学時間が短い来館者にも配慮し、短時間で沖縄の歴史が概観できる設定となっている。

〔未来を展望するゾーン〕

1階の「未来を展望するゾーン」の展示は参加型となっており、主に児童・生

徒を対象にしている。子ども・プロセス展示室は、未来を担う子どもたちが、積極的に平和を愛する心を育むためのもので、大きく3つのゾーンに分かれる。

「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」コーナー

さまざまな国の子どもたちの学校のように、友だち、遊びのことなどを紹介し、かけがえのない命、そしてぬちどう宝・せかいの子どもたち・いのちのわ(輪)についてメッセージを発信する。

「いま、世界で何が…」コーナー

やまない戦争・紛争、人権問題、環境破壊などを取り上げ、その原因や解決方法を考える機会を提供する。

「わらびな一(庭)」コーナー

展示物に触れながら遊びをとおして多様性と共通性に気づき、異文化を認め理解し合う。また、展示内容に関する子ども・プロセス企画や学習作品の展示を行う「ひろば・ゆいまーる」というスペースがあり、平和活動に貢献した人々の言葉を若い世代へ送るメッセージとして展示する。

なお、この階には1クラス程度の子どもたちが一度に利用できるスペースと観覧後の疑問を調べるための**情報ライブラリー**が設置され、一般図書、児童図書など約1万2千冊のほかに、平和学習のためのビデオなどが備えられており、子どもたちの質問への対応や資料調べのためのアドバイスなどの学習支援活動を実施する。

(2) 展示資料の充実等

- ①常設展示室2Fの殆ど全ての映像機器(LDプレーヤーからブルーレイディスクプレーヤー)とコントローラー、映像ディスク(LDディスクからDVDディスク)を刷新した。
- ②常設展示室2Fの1室と5室の年表パネルを刷新した。
- ③企画展示室の照明装置をLED照明に刷新した。

2 企画展

(1) 第14回特別企画展

「ハワイ日系移民が見た戦争（イクサ）と沖縄（ウチナー）」
～ハワイウチナンチュの沖縄へのウムイ～

①場所・開催期間

沖縄県平和祈念資料館 企画展示室：平成25年10月10日（木）～12月23日（月）
八重山平和祈念館 第2展示室：平成26年1月16日（木）～2月26日（水）

②趣旨

1945年、沖縄は20万人余の尊い生命と大切な文化遺産を失うこととなった。その沖縄戦から68年が過ぎ、年月と共に、悲惨な戦争の歴史的事実を風化させることなく、次の世代へ正しく継承し恒久平和の樹立に寄与しなければならない。

今年度の特別企画展においては沖縄戦を中心に戦前・戦中・戦後と日米の双方に深くかかわったハワイウチナンチュ（沖縄出身）移民のウムイ（想い）を取り上げ、戦争の愚かさや国境を超えた人間の尊厳を通して平和について考える機会とする。

戦前、沖縄から多くの県民がハワイへ渡り、厳しい生活の中で沖縄を支援したことや真珠湾攻撃以降、日系人への差別と戦い、祖国と戦うことになった葛藤と苦悩、戦後の積極的な復興支援など、ハワイウチナンチュ移民について深くは知られていない。彼らがどのような境遇の中で、戦争と沖縄を見つめ、日米の狭間で生きてきたのか。また、国境の壁を越え戦後も一貫して故郷を支援する彼等ウチナンチュの活動やウムイを実物資料や写真パネルの掲示、ビデオ上映を通して、多角的な視点で平和を見つめ、二度と戦争を起こさない平和を愛する「沖縄の心」を発信する機会とする。

③展示内容

【I部 沖縄戦前のハワイウチナンチュ移民 ～祖国を離れて～】

- 1 ハワイ沖縄移民の歴史「モーキティクーヨ」
- 2 真珠湾攻撃と日系人社会への衝撃
- 3 それぞれのアイデンティティ
- 4 人種差別と日系人の誇りのために闘った日系二世

【II部 日系二世兵が見た沖縄戦 ～沖縄へ命（運命・命令）を承けて～】

- 1 日系二世兵の証言
- 2 沖縄戦終結

【III部 戦後復興を支援したハワイのウチナンチュ ～故郷のために～】

- 1 ハワイからの沖縄復興支援
- 2 沖縄の魂（文化・祈り）の救済



④観覧者数（21,768人）



開会式の様子



観覧の様子

(2) 平成25年度新収蔵品展

〔名称〕 沖縄県平和祈念資料館企画展「新収蔵品展—平成23年度・24年度新収蔵資料—」

〔期間〕 平成25年6月13日(木)～7月31日(水)

〔場所〕 沖縄県平和祈念資料館1階 企画展示室

〔展示方針〕

- (1) 寄贈者への「お礼と感謝」の気持ちを表すとともに、新たに収蔵された県民財産を公開する。
- (2) 沖縄戦及び戦前から戦後の歴史に関する理解を深める場とする。
- (3) 公開することにより新たな寄贈にむけて、広く一般に啓発の機会とする。
- (4) 原則として、すべての資料を展示するものとする。



オープニングの様子

〔展示内容〕

- (1) 館長あいさつ
- (2) 平成23年度・24年度の寄贈品
- (3) 感想コーナー



新収蔵品展の様子

(2)子ども・プロセス企画展

第1回「戦争と教科書」

戦時中の日本が、国民を戦争に総動員するために、子どもたちをどのように教育したのかを当時の教科書を通して紹介する。また、国民に正しい情報を伝えずに戦争を拡大させていった情報統制の実態についても展示する。多くの人々が犠牲となった太平洋戦争について学び、過ちを繰り返さないためにはどうすればいいのかを子どもたちに考えてもらう機会とする。

[期間] 平成25年6月3日(月)～7月7日(日)

[内容]

- ①太平洋戦争のはじまり
- ②戦争中の教科書
 - ・ 国民学校
 - ・ 神の国
 - ・ 国民皆兵
 - ・ 尽忠報国
 - ・ 情報統制
- ③沖縄戦と子どもたち
- ④戦後の教科書

[観覧者数] 12,786名



第2回「チャレンジ！ 夏休み自由研究 -沖縄戦について調べてみよう-」

夏休みの機会に、子どもたちに沖縄戦に関心を持ってもらう企画として、夏休みの自由研究についてのヒントなどを紹介する展示を行う。情報ライブラリーと一体的に連携させて、資料館が日常的に活用できる場所であることの周知につとめる。

[期間] 平成25年7月20日(土)～9月1日(日)

[内容]

- ①自由研究の進め方やテーマ選びのヒント
- ②研究テーマの紹介・解説
 - ・ 沖縄戦の概要
 - ・ 戦時中の食べ物
 - ・ 学童疎開
 - ・ 不発弾
 - ・ 平和の礎
- ③自由研究のまとめ方(研究ノートや新聞)を紹介

[観覧者数] 8,146名



第3回「戦争と人びとの暮らし」

満州事変から太平洋戦争にいたる十五年戦争のなかで、国民生活がどのように変化したのかを、子どもたちが理解できるように展示する。戦時下の生活の変化を様々な面から展示することで、戦争がもたらす被害や人権の抑圧などについて学び、平和の尊さについて考える機会とする。

[期間] 平成 25 年 9 月 20 日 (金) ～11 月 20 日 (水)

[内容]

- ①中国との戦争が始まる
- ②アジア・太平洋に広がる戦争
- ③戦争と国民生活の変化
- ④子どもたちと戦争
- ⑤おそいかかる空襲
- ⑥沖縄・広島・長崎、そして敗戦
- ⑦平和で豊かな暮らしをめざして

[観覧者数] 15,819 名



第4回「世界の差別・日本の差別 ―平等な社会をめざして―」

世界では今なお、人種や性別、社会的身分などによる多くの差別がある。日本においても、様々な差別により苦しんでいる人々が存在する。世界や日本の差別問題について理解し、基本的人権の大切さについて考え、人権尊重のこころを育む機会とする。

[期間] 平成 25 年 12 月 4 日 (水) ～1 月 31 日 (金)

[内容]

- ①「人権」ってなんだろう？
- ②世界の差別 (世界の差別問題、人権思想のあゆみ)
- ③日本の差別 (部落差別、アイヌ民族、在日韓国人・朝鮮人、いじめ、女性差別など)
- ④沖縄と差別 (標準語励行運動、改姓改名運動など)
- ④平等な社会をめざして (平和のメッセージ)

[観覧者数] 9,861 名



第5回「沖繩へ命（運命・命令）を承けて ～沖繩戦中の二人の知事～」

沖縄県は昭和19年の10・10空襲を体験し、軍国主義の中、戦争の足音を感じ、翌年の3月沖縄戦を迎えることになった。この期間に沖縄では二人の知事が赴任していた。二人の知事はその後の沖縄戦に巻き込まれる沖縄県民のことを深く思慮し行動したが、当時の時代背景や県民・軍とのかかわりから対照的な生き方となってしまった。

この二人の知事の境遇と生き方を今を生きる私たちが見つめることで、戦争の恐ろしさや悲惨さ、平和の尊さや人権などについて考える機会とする。

[期間] 平成26年3月7日（金）～平成26年5月24日（土）

[内容]

I 部 沖縄決戦へ向けて（泉知事）

- 泉守紀知事とは？
- 沖縄への日本軍配置と県民総動員
- 泉知事と軍との対立
- 学童疎開 対馬丸の悲劇
- 県外・県内北部への疎開
- 十・十空襲と泉知事
- 泉知事と県民・県庁職員との対立
- 突然の泉知事転勤 「沖縄を捨てた知事」「沖縄から逃げた知事」なのか？

II 部 県民を総動員した地上戦（島田知事）

- 島田叡知事とは？
- 鉄の暴風
- 地獄の戦場（沖縄本島南部の戦い）
- 沖縄戦と学徒動員
- 県庁職員とともに（シッポウジヌガマ：県庁壕）
- 最期の県庁壕（轟の壕）での出来事
- 島田知事の最期
- 島守の塔と島田知事

[観覧者数] 34,415名



IV 収集資料・活用事業

1 新収蔵品目録（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(1) 実物資料

10名の個人及び3団体から、89件、226点の資料寄贈がありました。

No.	寄贈日	資料名	数	寄贈者
1	H25.5.4	帽子	1	金城仁志
2	H25.6.6	絵画	1	城間美智子
3	H25.6.17	パラシュート	1	新垣安常
4	H25.6.22	水筒	1	宮城忠雄
5	H25.7.30	旧日本銀行券 拾圓札	2	平田一雄
6	"	旧日本銀行券 五拾錢札	2	"
7	"	旧日本銀行券 壹圓札	2	"
8	"	旧日本銀行券 拾錢札	2	"
9	"	旧日本銀行券 五圓札	1	"
10	"	旧日本銀行券 百圓札	1	"
11	"	旧日本銀行券 五錢札	2	"
12	"	軍票	6	"
13	"	郵便はがき	8	"
14	H25.9.3	写真アルバム	4	奥山智代
15	H25.10.4	認識票	1	糸満市教育委員会
16	H25.11.18	写真	1	野原真栄
17	"	軍票	2	"
18	"	旧紙幣	2	"
19	H25.12.17	軍刀	1	與那覇一之
20	H26.1.9	写真	1	野原真栄
21	H26.1.15	守礼の光 84号	2	沖縄県立図書館
22	"	守礼の光 85号	1	"
23	"	守礼の光 88号	1	"
24	"	守礼の光 89号	1	"
25	"	守礼の光 95号	1	"
26	"	守礼の光 106号	1	"
27	"	守礼の光 109号	1	"
28	"	守礼の光 118号	1	"
29	"	守礼の光 120号	1	"
30	"	守礼の光 1961年8月号	1	"
31	"	守礼の光 1962年5月号	1	"
32	"	守礼の光 1962年10月号	1	"
33	"	守礼の光 1963年8月号	2	"
34	"	守礼の光 1963年9月号	1	"
35	"	守礼の光 1964年1月号	1	"
36	"	守礼の光 1964年3月号	1	"
37	"	守礼の光 1964年10月号	1	"
38	"	守礼の光 1965年3月号	1	"
39	"	守礼の光 1965年8月号	2	"
40	"	守礼の光 1969年5月号	1	"
41	"	守礼の光 1969年7月号	1	"
42	"	守礼の光 1969年10月号	2	"
45	"	守礼の光 1970年5月号	1	"
46	"	守礼の光 1970年7月号	2	"
47	"	守礼の光 1970年10月号	2	"
48	"	守礼の光 1970年11月号	1	"
49	"	守礼の光 1971年1月号	1	"
50	"	守礼の光 1971年10月号	1	"
51	"	守礼の光 1971年11月号	2	"
52	"	守礼の光 1972年1月号	1	"
53	"	守礼の光 1972年4月号	1	"
54	"	今日の琉球 第11巻2号	1	"
55	"	今日の琉球 第11巻4号	2	"
56	"	今日の琉球 第11巻5号	2	"
57	"	今日の琉球 第11巻11号	1	"
58	"	今日の琉球 第12巻4号	1	"
59	"	今日の琉球 第12巻5号	1	"
60	"	今日の琉球 第13巻7号	1	"

61	"	今日の琉球 第13巻9号	1	"
62	"	今日の琉球 第13巻10号	2	"
63	"	琉球のあゆみ 1964年3月号(通巻第53号)	1	"
64	"	琉球のあゆみ 1964年4月号(通巻第54号)	1	"
65	"	琉球のあゆみ 1964年6月号(通巻第56号)	1	"
66	"	琉球のあゆみ 1964年8月号(通巻第58号)	1	"
67	"	琉球のあゆみ 1964年9月号(通巻第59号)	1	"
68	"	琉球のあゆみ 1964年11・12月号(通巻第61号)	1	"
69	"	琉球のあゆみ 1967年6月号(通巻第85号)	1	"
70	"	琉球のあゆみ 1967年7・8月合併号(通巻第86号)	3	"
71	"	琉球のあゆみ 1967年9月号(通巻第87号)	3	"
72	"	琉球のあゆみ 1968年1月号(通巻第89号)	1	"
73	"	琉球のあゆみ 1968年2月号(通巻第90号)	2	"
74	"	琉球のあゆみ 1968年9月号(通巻第95号)	1	"
75	"	みどり 第13号	1	"
76	"	みどり 第19号	2	"
77	"	20年のひずみ 基地の島沖繩	1	"
78	"	沖繩戦生存者に対する慰籍料 要請調査資料浦添市・北谷村	1	"
79	H26.2.13	アルバム	1	宣保悦子
80	"	写真	90	"
81	"	はがき	1	"
82	H26.3.4	軍隊手帳	1	財団法人沖繩県傷痍軍人会
83	"	旗	4	"
84	"	感謝状	4	"
85	"	引渡書	1	"
86	"	創立50周年記念誌	5	"
87	"	会員名簿	2	"
88	"	会報おきしょう創刊～31号(最終号)	1	"
89	"	ビデオしょうけい館オーラルヒストリー沖繩 編 戦傷病者の苦勞を語り継ぐ	2	"

(2) 図書資料

3名の個人及び1団体から、28冊の図書資料寄贈がありました。これらは当館内の情報ライブラリーにて閲覧できます。

No.	寄贈日	資料名	数	寄贈者
1	H25.8.14	UMU II(フォトブック)	1	奥田卓
2	H25.9.5	生きる屍 ソ連獄窓十一年の記録I II III	3	大城光代
3	H25.11.30	沖繩・阿嘉島の戦闘 ー沖繩戦で最初に米軍が上陸した島ー	1	中村仁勇
4	H26.3.4	日本傷痍軍人会拾五年史	1	財団法人沖繩県傷痍軍人会
5	"	北海道傷痍軍人会四拾年誌	1	"
6	"	戦争体験記 青森県傷痍軍人会	1	"
7	"	財団法人 福島県傷痍軍人会五十年誌	1	"
8	"	財団法人 石川県傷痍軍人会三十年誌	1	"
9	"	滋賀県傷痍軍人会沿革誌	1	"
10	"	統 滋賀県傷痍軍人会沿革誌	1	"
11	"	滋賀県傷痍軍人会沿革誌(完)	1	"
12	"	福岡県傷痍軍人会創立五十五周年記念誌	1	"
13	"	奈良県傷痍軍人会五十年の歩み	1	"
14	"	戦傷病克服体験記録	1	"
15	"	戦傷病者労苦調査事業報告書	1	"
16	"	戦傷病者等労苦継承事業 調査検討委員会報告書	1	"
17	"	戦傷病者等労苦継承事業 調査検討委員会報告書	1	"
18	"	日中戦争・太平洋戦争の戦傷病者数と実態に 関する調査報告書	1	"
19	"	戦傷病者現況調査結果表 昭和51年2月	1	"
20	"	全国合同大会(日本傷痍軍人会・妻の会)	1	"
21	"	全国合同大会(日本傷痍軍人会・妻の会)	1	"
22	"	記念式典	1	"
23	"	記念式典	1	"
24	"	日傷月刊 財団法人 日本傷痍軍人会	1	"
25	"	日傷月刊(Ⅱ) 財団法人 日本傷痍軍人会	1	"
26	"	日傷月刊(Ⅲ) 財団法人 日本傷痍軍人会	1	"

2 資料貸出

(1) 写真パネル、実物、児童・生徒の平和メッセージ展パネル等の教育現場、公共機関等への貸出

資料館では、写真パネル（計201点）、沖縄戦実物資料（20種類）、児童・生徒の平和メッセージ展図画・作文・詩入選作品パネル、世界人権宣言絵画パネル一式（35枚一式）「沖縄戦の絵」複製パネル（52点）等を貸し出しております。

平成25年度は、計33件、418点の貸出をしました。（県内外）

（県内）

	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	那覇市立真嘉比小学校	沖縄戦実物資料	20	6/1～6/30
2	糸満市立西崎小学校	平和学習キット	3	5/13～5/17
3	県立西原高等学校	沖縄戦の絵	20	5/27～6/26
4	豊見城市立とよみ小学校	沖縄戦実物資料 平和学習キット	12 3	5/30～6/13 5/28～6/10
5	県立那覇西高等学校	沖縄戦写真パネル	20	6/3～6/25
6	県立鏡が丘特別支援学校	平和学習キット	1	6/3～6/14
7	県立沖縄盲学校	平和学習キット	1	6/5～6/20
8	宮古島市総合博物館	沖縄戦実物資料	7	6/6～6/20
9	県立向陽高等学校	沖縄戦写真パネル	11	6/6～7/5
		平和学習キット	1	6/6～6/21
		沖縄戦実物資料	6	6/6～6/21
10	北谷町立北谷小学校	平和メッセージ展作品	13	6/7～7/5
		沖縄戦の絵	4	〃
		沖縄戦写真パネル	3	〃
11	沖縄アミークスインターナショナル	沖縄戦写真パネル	10	6/8～6/29
		平和メッセージ展作品	3	〃
		沖縄戦実物資料	7	〃
12	沖縄キリスト教学院図書館	沖縄戦写真パネル	20	6/11～7/1
13	県立南部商業高等学校	平和学習キット	2	6/12～6/25
14	南風原町立翔南小学校	平和学習キット	2	6/12～6/23
15	県立泡瀬特別支援学校	沖縄戦の絵	8	6/13～7/11
16	糸満市立中央図書館	沖縄戦実物資料	5	6/14～6/26
17	浦添市立教育研究所	平和学習キット	1	7/1～7/7
18	南風原町役場	平和メッセージ展作品	2	10/4～10/21
19	那覇市立石嶺小学校	平和学習キット	2	11/16～11/29
	県内小計		187	

（県外）

1	京都府城陽市役所	沖縄戦写真パネル	11	7/11～7/19
2	京都府相楽郡精華町	沖縄戦写真パネル	7	7/26～8/22
3	埼玉県三郷市	沖縄戦写真パネル	20	7/29～8/18
4	茨城県龍ヶ崎市総務部	沖縄戦写真パネル	20	7/31～8/23
5	東京都港区役所	沖縄戦写真パネル	20	7/31～8/22
6	新潟県柏崎市立図書館	沖縄戦の絵	20	8/1～8/30
7	高山市職員労働組合連合会	沖縄戦実物資料 沖縄戦写真パネル 平和メッセージ展作品	3 3 4	8/2～8/6 〃 〃
8	連合秋田中央地域協議会	沖縄戦写真パネル 沖縄戦の絵	15 5	8/2～8/3 〃
9	東京都羽村市	沖縄戦写真パネル 平和メッセージ展作品	16 3	8/6～8/18 〃
10	奈良県橿原市立金橋小学校	沖縄戦実物資料 沖縄戦写真パネル 沖縄戦の絵	8 4 2	8/20～9/13 〃 〃
11	ホテルオーシャン	沖縄戦写真パネル 沖縄戦実物資料	10 5	9/24～10/24 〃
12	JTB 関東法人営業長岡支店	沖縄戦写真パネル 沖縄戦の絵	15 5	11/6～11/22 〃
13	㈱フォン・ジャパン ホテルオーシャン	沖縄戦写真パネル 沖縄戦実物資料	10 5	10/25～11/25
14	千葉県佐倉市	沖縄戦写真パネル	20	1/17～1/28
	県外小計		231	
	総計		418	

(2) 証言映像の貸出

戦争体験証言ビデオや収容所生活等の映像資料で、県内外の人々により深く、沖縄戦の実相と平和の尊さを伝えることを目的に貸し出しを行っております。近年は修学旅行前の事前学習の教材として利用したいとの申し込みが学校現場より増えております。

〔概要〕

- 貸出本数 合計38件113本
(県外24件 72本、県内14件 41本)
- 貸出ビデオ ①VHS 証言ビデオ28巻 (原則として1本に3名分、計81名分の証言)
②VHS 『やーさん ひーさん しかーさん ー集団疎開学童の証言ー』
③VHS 『そして僕らは生き残った』
④DVD (DVD-RAM) 『強制集団死 (集団自決) に係る証言映像』

※貸出期間は原則として2週間以内、貸出本数は原則5本以内とする。



【新証言映像の貸出開始です】

平成26年度より、「子や孫に伝える平和のウミイ事業 (H24年度～H25年度事業)」にて収録したDVD (全30巻)の貸出をはじめました。1巻に10名の方の証言映像を収録しております。

子や孫につなぐ平和のウミイ事業

家族の過去への想像力、 未来の平和への創造力。

戦後68年が経ち、戦争被害が減少していきながら、沖縄戦の歴史的教訓を次の世代に継承し、平和意識の醸成がますます求めらるるようになってきた。

そこで、昨年度より実施している「子や孫につなぐ平和のウミイ事業」で録音された証言映像が家族に平和へのウミイ(思い)を語りかける場子などを含む350件の教学資料を収録しました。

今年度はその映像を、各地の図書館で公開します。合わせて「沖縄戦の教訓をどのようにして次世代へ継承していくのか」と題してシンポジウム(基調講演とパネルディスカッション)を行い、さらに成果報告会もあわせて開催します。

戦後68年経ち、戦争被害が減少していきながら、沖縄戦の歴史的教訓を次の世代に継承し、平和意識の醸成がますます求めらるるようになってきた。

そこで、昨年度より実施している「子や孫につなぐ平和のウミイ事業」で録音された証言映像が家族に平和へのウミイ(思い)を語りかける場子などを含む350件の教学資料を収録しました。

今年度はその映像を、各地の図書館で公開します。合わせて「沖縄戦の教訓をどのようにして次世代へ継承していくのか」と題してシンポジウム(基調講演とパネルディスカッション)を行い、さらに成果報告会もあわせて開催します。

戦後68年経ち、戦争被害が減少していきながら、沖縄戦の歴史的教訓を次の世代に継承し、平和意識の醸成がますます求めらるるようになってきた。

そこで、昨年度より実施している「子や孫につなぐ平和のウミイ事業」で録音された証言映像が家族に平和へのウミイ(思い)を語りかける場子などを含む350件の教学資料を収録しました。

今年度はその映像を、各地の図書館で公開します。合わせて「沖縄戦の教訓をどのようにして次世代へ継承していくのか」と題してシンポジウム(基調講演とパネルディスカッション)を行い、さらに成果報告会もあわせて開催します。

3 撮影・掲載等利用一覧

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
1	マルティン・ルター大学・レ・ヴィンテンベルグ マーティン・ヴァント	沖縄県遺族連合会資料 研究 博士論文にて掲載	107	4/1
2	公明党沖縄県本部 糸洲朝則	第1展示室遠景「公明党青年局平和学習資料」収録	1	4/3
3	TBS テレビ報道局 進藤清徳	第5展示室資料 CS「ニューズバード」内「ニュースクリア」にて放映	13	4/9
4	NHK 報道部社会番組部 阿部宗平	米軍記録写真「NHK スペシャル“父の遺言” 井上ひさし “最後の作品”	13	4/10
5	NHK 沖縄放送局 向江隆文	ひろば・ゆいまーる展示 中学生制作壁新聞 「おきなわHOTeye」にて放映	36	4/10
6	TBS テレビ報道局編集部 佐古忠彦	湊川中学校修学旅行生への講演会（上原徹）及び館内見 学の様子 テレビ未来遺産「生きる」にて放映	1	4/17
7	マルティン・ルター大学・レ・ヴィンテンベルグ マーティン・ヴァント	沖縄県遺族連合会資料 研究 博士論文にて掲載	29	4/18
8	有限会社スタジオ・ジップ 川崎敦文	沖縄戦米軍記録写真 NO.090 「入門零戦と太平洋戦争」出版書籍への掲載	1	4/22
9	梅光学院大学学長 樋口紀子	沖縄県平和祈念資料館設立理念、展示むすびのことば 2013 年度入試問題集にて掲載	2	4/23
10	株式会社ブランディット 源根秀実	戦後の人口の年齢構成（戦後・戦前の人口ピラミッド） 平成25～27年度 進研ゼミ中学講座『入試過去問徹底解説 2013 年下巻』にて掲載	1	5/1
11	竜ヶ崎市役所 市長 中山一生	沖縄戦米軍記録写真 246, 253, 269, 303 「沖縄戦写真パネル展」の周知用チラシ、ホームページ等への掲載	4	5/9
12	西原町立中央公民館 館長 寄川順美	平和学習キット A（出征職、千人針腹巻、戦時中の食糧） キット B（出頭状、臨時召集令状等）	9	5/20
13	八重瀬町立具志堅歴史民俗資料館 館長 中村通孝	白梅学徒隊資料（校印、校章、卒業証書、身分証明書等） 企画展「白梅学徒隊の沖縄戦」の展示資料として	15	5/28
14	沖縄県立南部商業高等学校	沖縄県平和祈念資料館「結びの言葉」 「慰霊の日」特設の校内平和資料展で展示する為	1	5/28
15	中日新聞教育報道部 部長 山田伝夫	米軍記録写真 No.0219, 0212, 0051, 0009, 0300 沖縄戦紹介記事の中で掲載	5	5/28
16	高松市立龍雲中学校 校長 山下昌宏	児童・生徒の平和メッセージ 平成 23 年度 詩部門 最優秀賞「幸せの一枚」授業でプリント資料として活用	1	5/29
17	兵庫県西宮市立鳴尾中学校 校長 佐伯輝久	児童・生徒の平和メッセージ 平成 24 年度 詩部門 中学 校の部「おぼあと私の十四歳」平和学習の教材にて活用	1	5/31
18	宮古島市総合博物館 館長 下里典子	写真パネル E-002-1, E-024 慰霊の日関連特別展示ポスターにて掲載	2	6/1
19	NHK 沖縄放送局 記者 長野祥光	日系アメリカ兵の写真、米議会メダル、比嘉武二郎氏勲章 おきなわHOTeye 平成 25 年 6 月 6 日午後 6 時 10 分放映	8	6/1
20	TBS テレビ 片山薫	方言札、沖縄戦の絵「スパイ容疑をかけられた私」 テレビ未来遺産「生きる」にて放映するため	2	6/3
21	沖縄タイムス南部総局 記者 又吉俊充	比嘉武二郎氏の辞書・勲章・ブロンズスター・写真、金城秀夫氏 のメモ帳、タカラセイキチ氏のコイン、沖縄タイムス新聞にて掲載	6	6/4
22	フォーラム 21 大竹篤	各国の教科書に掲載された「アジア太平洋戦争」に関する日本語 訳、日本の歴史教育の在り方を提案する基礎にするため	8	6/5
23	朝日新聞社福岡支部 記者 木村司	沖縄戦米軍記録写真 0084, 0232, 0252, 0371 朝日新聞デジタル 6 月 12 日～20 日にて掲載	4	6/10
24	琉球新報社代表取締役 富田詢一	沖縄戦米軍記録写真 0019, 0132, 0140, 0233, 0296, 0771 0613, 0639, 0771, E-004 琉球新報 6 月 19 日掲載	10	6/10
25	NHK 沖縄放送局 佐藤稔彦	「新収蔵品展」で展示される品々 「平成 25 年度 沖縄全戦没者追悼式」6 月 23 日にて放映	10	6/11
26	琉球新報社代表取締役 富田詢一	児童生徒の平和メッセージ H24 図画(高)「飛翔 H20 図画(小)「平和の地球」H19 図画(中)「地球の平和」H18 詩(高)「若い瞳」琉球新報小中学生新聞に掲載	4	6/12
27	宜野湾市教育委員会 教育長 玉城勝秀	沖縄戦米軍記録写真 0019, 0032, 0041, 0075, 0138, 0224, 0282, 0287, 0311, 0551, 0560, 0562, 0619, 0647, 0758 等 企画展「イクサユヌジのーん（戦世の宜野湾）」掲載	20	6/12
28	韓国 KBS テレビ 李永雄	常設展示室（第 1 展示室～第 5 展示室） 韓国 KBS テレビ「時事企画、窓！」	27	6/13
29	朝日新聞社那覇総局 記者 斎藤徹	沖縄戦米軍記録写真 0001, 0009, 0010 朝日新聞西部本社朝刊 6 月 18 日掲載	3	6/14
30	TBS テレビ ニュース 23 ディレクター 阪野悦子	常設展示室内 取材対象者の見学風景を撮影 ニュース 23 6 月 24 日放映	1	6/14
31	日本テレビ放送網株式会社 ディレクター 山口美和	子どもプロセス展示室「戦争と教科書展」 日本テレビ「NEWS ZERO」にて放映 2013.6.18	9	6/14
32	株式会社沖縄映像センター 玉城淳博	常設展示室の様子 BS スカパー番組「旅チャンネル（沖 縄ローカルニュース）」にて放映 2013.8 月号放映	1	6/18
33	TBS テレビ報道局 近藤博明	沖縄戦米軍記録写真 0122, 0516 NEWS23 沖縄慰霊の日特集放映 2013.6.24	2	6/21

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
34	琉球朝日放送(株) 報道制作局 秋山和代	平和講話・常設展示室で学習する学生の様子 ニュース Q + 「慰霊の日特集」にて放映 2013.6.21	2	6/21
35	九条の会・尾張旭 筒井洋	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「へいわつてすてきだね」九条の会・尾張旭七周年の集いプログラムに掲載	1	6/25
36	大田区嶺町小学校 牛島貞満	日本軍認識票、銃剣	2	6/23
37	琉球新報社北部支社 記者 嘉陽拓也	沖縄戦米軍記録写真 0282 琉球新報 朝刊にて掲載 2013.6.26	1	6/25
38	TBS テレビ報道局 小松崎菜	沖縄戦米軍記録写真 0560, 0562 テレビ未来遺産「生きる」にて放映 2013.8.7	2	6/28
39	和歌山県高等学校教職員 組合 委員長 東山邦夫	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「へいわつてすてきだね」 組合機関紙「新聞と高教一憲法特集号」掲載	1	7/1
40	株式会社オフィスザップ プロデューサー石井武仁	沖縄戦米軍記録写真 49 点, 投降ピラ 2 点 BS フジ「名作を旅してみれば#10 ひめゆりの塔編」放映	51	7/8
41	(有) VOICEK 代表 飯島晶子	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「へいわつてすてきだね」「未来への伝言」にて朗読 2013.7.9	1	7/9
42	特定非営利活動法人 WE21 ジャパン 藤井あや子	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「へいわつてすてきだね」 平和シンポジウムのチラシに掲載	1	7/9
43	NHK 知財展開センター センター長 加藤久仁	沖縄戦米軍記録写真 0557 インターネットサイト「戦争証言アーカイブス」にて掲載	1	7/10
44	朝日学生新聞社大阪支社 支店長 白石収	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「へいわつてすてきだね」 朝日小学生新聞にて掲載 2013.7.13	1	7/12
45	TBS テレビ報道局 小松崎菜	沖縄戦米軍記録写真 0233, 0234 テレビ未来遺産「生きる」にて放映 2013.8.7	2	7/16
46	朗読シアター KOBE 仲比呂志	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「へいわつてすてきだね」 親子おほなし会にて朗読 2013.7.28	1	7/17
47	玉泉新聞社 西中亨	常設展示室 玉泉(オクチョン) 新聞掲載 2013.8.23, 8.30	12	7/18
48	豊中市役所広報広聴課 森百合子	沖縄戦米軍記録写真 0043, 0058, 0085, 0230, 0253 企画展「ひめゆり学徒隊の生存者 新川初さんのお話を聞いて」掲載	5	7/19
49	株式会社ルート 代表取締役 今津新之助	館内フロア風景の撮影 観光 WEB サイト「沖縄ツアーランド」9月掲載予定	1	7/19
50	公益財団法人対馬丸記念館 館長 高良政勝	アサヒグラフ(1942.12.23, 1944.7.26, 1945.5.25) 写真週報 (1941.11.26, 1942.3.4) 教科書初等科一 特別展展示の為	7	7/24
51	発寒ひかり保育園 園長 吉田行男	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「へいわつてすてきだね」 園だより 8月号にて掲載 2013.7.13	1	7/25
52	福岡県大川市企画調整課 課長 本村和也	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 「へいわつてすてきだね」 H24 中学校の部「おぼあとの十四歳」 戦時資料パネル展にて展示	2	7/26
53	I 女性会議広島県本部 佐藤奈保子	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「へいわつてすてきだね」 「8の日平和行動」の街頭ピラに掲載	1	7/31
54	株式会社 浜島書店 代表取締役 浜島晃	方言札 「新詳 日本史」にて掲載 2013.4.1 発行予定	1	8/1
55	福岡県筑前町役場 町長 田頭喜久己	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「へいわつてすてきだね」 筑前町戦没者追悼式にて朗読 2013.9.28	1	8/1
56	琉球新報社社会部 記者 沖田有吾	沖縄戦米軍記録写真 0232 琉球新報「未来に伝える沖縄戦」にて掲載 2013.8.11	1	8/6
57	八重瀬町立具志頭歴史民俗 資料館 館長 中村通孝	白梅の会寄託資料 校印,校章,卒業証書等 15 点 企画展「白梅学徒隊の沖縄戦」 展示資料として	15	8/8
58	京都文教短期大学 照屋敏勝	H14 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 高校生の部「未来に向かって」 H15 小学生の部(高)「川の水よ 太陽よ」 「聖語・金言・詩歌撰」にて掲載	2	8/10
59	epa 通信社 記者 前城均	常設展示室 オリバー・ストーン氏県平和祈念資料館見 学の様子記事を掲載する為	1	8/13
60	公益財団法人日本修学旅行協会 理事長 河上一雄	第3 展示室 住民の見た沖縄戦「地獄の戦場」ガマの様子 月刊誌「教育旅行」2013.10.1 月号にて掲載	1	8/16
61	中日新聞東海本社 編集局報道部記者 木原育子	沖縄戦米軍記録写真 0001, 0002, 0039, 0065, 0072 中日新聞「沖縄戦を語りつぐ」記事掲載 2013.8.26	5	8/21
62	株式会社山川出版 代表取締役 野澤伸平	第3 展示室 住民の見た沖縄戦「地獄の戦場」ガマの様子 「ビジュアル版 日本史図録」2013.10 末掲載予定	1	8/27
63	八重瀬町立具志頭歴史民俗資料館 館長 中村通孝	白梅学徒隊資料(校印,校章,卒業証書,身分証明書等) 企画展「白梅学徒隊の沖縄戦」図録掲載 2014.3 発行予定	14	9/2
64	日本自動車連盟沖縄支部 平良克哉	第3 展示室 ガマ(避難民・住民,野戦病院) 第4 展示室 収容所での生活 JAF Mate12 月号掲載	3	9/5
65	株式会社 高文研 山本邦彦	沖縄戦米軍記録写真 0085, 0140, 0269 単行本『新 沖縄 修学旅行』掲載 2013.10.15 発行予定	3	9/6
66	株式会社 高文研 山本邦彦	沖縄戦米軍記録写真 0104 単行本『新 沖縄 修学旅行』掲載 2013.10.15 発行予定	1	9/11
67	フォトオフィス大田 大田高美雄	1 階ロビー, 2 階常設展示室 Traver show : 1 ops veis Okinawa Series Episode2 2014.1 放映予定	2	9/12

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
68	NHK 沖縄放送局 記者 中村万里子	スリランカ中学生平和講話と展示見学の様子 「おきなわHOTeye」9月18日放映	2	9/18
69	ザ・ビーチタワー沖縄 総支配人 宮城諭	沖縄県平和祈念資料館外観 ザ・ビーチタワー沖縄発刊『Bタワーページ』掲載 2013.10.18	1	9/19
70	NHK 沖縄放送局 記者 眞慶一	吉嶺全一氏が描いた沖縄戦の絵「米軍に攻撃され、火だるまになつた日本兵の姿」「おきなわHOTeye」9月25日放映	1	9/20
71	真嘉比自治会 自治会長 高屋英正	沖縄戦米軍記録写真 0282 『真嘉比字誌』掲載 2013.12.1 発行予定	1	9/29
72	沖縄県知事公室交流推進課 課長 照喜名一	2階常設展示室 ドキュメンタリー映画『沖縄文化・空手』にて放映	1	10/1
73	谷川喜干次	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 Youtube Twitter Facebookにて掲載	1	10/8
74	NHK 沖縄放送局 中村万里子	2階常設展示室(カンボジア研修員取材) 「おきなわHOTeye」10月16日放映	1	10/16
75	カモミール 田中美奈	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 紀南ピースフェスタ 2013.8.25	1	10/16
76	株式会社 みらい 代表取締役 杉野孝典	沖縄戦米軍記録写真 0003, 0233 『私の沖縄戦1』(新日本出版社刊) 2013.11.22	2	10/18
77	那覇市歴史民俗資料館 館長 古塚達朗	沖縄戦米軍記録写真 0054 『那覇市の史跡・旧跡ガイドブック(仮)』掲載 2014.2	1	10/23
78	朝日新聞大阪本社 社会部 武田肇	2階常設展示室 朝日新聞大阪本社発行版にて掲載 11月初旬	1	10/25
79	沖縄セルラー株式会社 代表取締役社長 北川洋	沖縄県平和祈念資料館外観及び2階常設展示室「沖縄CLIP」ホームページ、スマートフォンアプリ、Facebook、Twitterにて掲載	1	10/29
80	株式会社 学び舎 若木久造	沖縄戦米軍記録写真 0294 文部科学省検定教科書『ともに学ぶ人間の歴史』掲載	1	11/6
81	IFA(インフォーカスアジア)社 ドミニック・ヤング	沖縄戦米軍記録写真 展示室展示画像※前回撮影済み 『アジア紀行歴史番組』2013年秋放送予定	2	11/13
82	フリージャーナリスト 原義和	平和講話、児童生徒展示室見学風景、特別展示室 「RBC THE NEWS」11.29 「報道特集」12.7 放送	3	11/18
83	株式会社 みらい 代表取締役 杉野孝典	沖縄戦米軍記録写真 37点 『私の沖縄戦2～4』(新日本出版社刊) 2014.2月下旬	37	11/25
84	NHK 沖縄放送局 向江隆文	日系二世関係資料 NHK「おはよう日本」(全国) 2013.12.7 放映	7	11/26
85	沖縄テレビ報道部 アナウンサー 登川二奈	特別企画展「ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄」 「OTV スーパーニュース」2013.12.3 放映	1	11/29
86	屋嘉部長将	第1展示室(陣地作りジオラマ) 第2展示室(水の入った水筒、砲弾、避難民・日本兵の再現) 第4展示室(全景と映像ブース) 卒論掲載	6	12/4
87	琉球放送 RBC 報道制作部 砂川裕	ハーバート・柳村氏の写真 「RBC THE NEWS」12月5日放映	2	12/4
88	東京都教職員組合 執行委員長 工藤芳弘	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 新聞『都教組』1月5日号掲載	1	12/9
89	佐久市教育委員会 教育長 土屋盛夫	第3展示室「野戦病院・青酸カリ」 『佐久の先人』にて掲載 2014.2 発行予定	1	12/9
90	日立ソリューションズ東日本 副部長 中山隆	平和祈念資料館外観及び資料館説明	2	12/11
91	多摩市文庫連絡協議会 担当 鈴木百合子	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 第26回文庫展-子どもと本の広場にて壁画展示	1	12/12
92	高村忠範	沖縄戦米軍記録写真 0040 「平和を考える 戦争遺物」第4巻(汐文社刊)	1	12/24
93	山梨日日新聞社販売部 土橋琢磨	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 第10回小中学生新聞感想コンクール入賞作品集へ掲載	1	12/25
94	やまぐちクリニック (現代医療を考える会)	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 社会評論社発行『国策と犠牲』にて掲載	1	1/6
95	株式会社ウィル 片岡弘子	水筒(H-04)、飯盒(I-04)画像データ 『せんそうってなんだったの?』第二期(学研教育出版)にて掲載	2	1/10
96	グリーンコープコミュニケーション ンワーカーズ代表 倉岡良子	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 子育て応援総合情報誌『グープ』55号にて掲載	1	1/10
97	稲福節子	館内の撮影 祖父(米国人)のドキュメンタリー撮影の為	1	1/10
98	富山県高等学校教職員組合	H25 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部「へいわってすてきだね」 高校生の部「今必要なこと」富山県高校生平和作品展表紙にて朗読	2	1/16
99	朝日新聞分冊百科編集部	沖縄戦米軍記録写真 0032 週刊朝日百科『新発見!日本の歴史37号』掲載	1	1/20
100	JTB パブリッシング 編集担当 玉井優雅	『るるぶ沖縄ドライブ15』掲載原稿	1	1/21
			592点	

V 教育普及事業

1 教育普及行事

(1) 第23回児童・生徒の平和メッセージ展

本県は、去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦の場となり、20万余の貴い生命とかけがえない文化遺産を失った。戦後、68年を経過した現在、この歴史的な事実を風化させることなく次の世代に正しく継承させていくために児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して、児童・生徒が戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会とする。また、応募作品の中から優秀な作品を選定し、展示、広報することを通して、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを発信する機会とする。



- ①応募総数 (4, 212点) 図画2, 288点 作文234点
詩 1, 690点

- ②平成25年度沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読者
与那国町立与那国小学校1年 安里有生くん 「へいわってすてきだね」

- ③県内3会場にて展示会の実施
- | | |
|----------------------|------------------|
| ・沖縄県平和祈念資料館 2階海と礎の回廊 | 期間： 6月23日 ～7月10日 |
| ・八重山平和祈念館 第2展示室 | 期間： 7月17日 ～7月28日 |
| ・沖縄県庁 1階県民ホール | 期間： 8月19日 ～8月23日 |

- ④表彰式
[日時] 8月19日 午前11時～正午 沖縄県庁 1階県民ホール

- ⑤入賞作品数 (238点)

【特別支援学級・学校】 15点

図画：最優秀1点	優秀1点	優良1点	佳作2点
作文：最優秀1点	優秀1点	優良1点	
詩：最優秀1点	優秀1点	優良1点	佳作4点

【小学校低学年】 18点

図画：最優秀1点	優秀1点	優良1点	佳作7点
作文：最優秀1点	優秀1点	優良2点	
詩：最優秀1点	優秀1点	優良1点	佳作1点

【小学校高学年】 69点

図画：最優秀1点	優秀2点	優良5点	佳作21点
作文：最優秀1点	優秀2点	優良5点	佳作12点
詩：最優秀1点	優秀2点	優良6点	佳作11点

【中学校】 81点

図画：最優秀1点	優秀2点	優良7点	佳作15点
作文：最優秀1点	優秀2点	優良7点	佳作15点
詩：最優秀1点	優秀2点	優良7点	佳作21点

【高等学校】 55点

図画：最優秀1点	優秀2点	優良7点	佳作5点
作文：最優秀1点	優秀2点	優良7点	佳作9点
詩：最優秀1点	優秀2点	優良7点	佳作11点



慰霊の日に平和の詩を読み上げる安里有生くん



平和祈念資料館でのオープニング



高良副知事より表彰状の授与



高良副知事、諸見里教育長と受賞した児童生徒

(2) 親子ビデオ上映会

① 子供の日ビデオ上映会

児童福祉週間関連事業の一環として、児童生徒の観覧料無料に合わせて沖縄戦関連のビデオ上映を行い、親子で平和について考える機会とする。

[日時] 平成 25 年 5 月 5 日 (日) 午後 1 時 30 分～午後 4 時

[上映ビデオ]

- 「100番目のサル」 (20 分)
- 「石の声 ～沖縄戦マラリア地獄の記憶～」 (24 分)
- 「煙突屋 ペロー」 (23 分)
- 「ちいちゃんのかげおくり」 (17 分)
- 「新ちゃんがないた！」 (37分)
- 「やーさん ひーさん しからーさん」【ダイジェスト版】 (19 分)

[参加者数] 延べ 141 名



② 慰霊の日 沖縄戦関連ビデオ上映会

「慰霊の日」関連事業の一環として、観覧無料に合わせて沖縄戦・人権関係のビデオ上映を行い、平和や人権について考えると同時に、資料館への理解を深めてもらう機会とする。

[日時] 平成 25 年 6 月 23 日 (日) 午後 2 時～午後 4 時 30 分

[上映ビデオ]

- 「ドキュメント沖縄戦」 (57 分)
- 「沖縄戦の証言」 (35 分)
- 「そしてぼくらは生き残った」 (61 分)

[参加者数] 延べ 581 人



③ 夏休みアニメ上映会 (平和祈念ホール)

アニメ作品等の鑑賞を通して、平和と人権について考える。

[日時] 平成 25 年 8 月 10 日 (土)・11 日 (日) 午後 2 時～午後 4 時

[上映作品]

8 月 10 日 (土) 午後 2 時～午後 4 時

- 「石の声」 (24 分)
- 「対馬丸」 (75 分)

8 月 11 日 (日) 午後 2 時～午後 4 時

- 「やーさん ひーさん しからーさん ダイジェスト版」 (19 分)
- 「カンカラ三線」 (78 分)

[参加者数] 二日間 延べ 102 名



(3) 夏休み子ども向け企画

① 夏休み自由研究相談室（情報ライブラリー）

〔期間〕 平成 25 年 8 月 3 日（土）、10 日（土）、17 日（土）午前 9 時～午後 5 時

〔内容〕 自由研究の進め方や疑問点などについて、助言・説明する。

〔相談者数〕 33 名

② 夏休み子ども教室（情報ライブラリー）

〔期間〕 平成 25 年 7 月 27 日（土）午後 1 時～4 時

〔内容〕 沖縄戦について学習し、研究シートを使って自由研究ノートづくりを行う。

〔参加者数〕 16 名

③ 親子平和学習ツアー

平和祈念資料館と平和祈念公園内にある戦跡や慰霊碑などを見学して沖縄戦について学習した。今回は南冥の塔、沖縄師範健児之塔等を巡り親子で平和の大切さについて学んだ。

〔日時〕 平成 25 年 8 月 10 日（土）午前 10 時～正午

〔参加者数〕 29 名

〔コース〕

- 黎明之塔
- 第 32 軍司令部壕
- 健児の塔
- 南冥の塔



2 教育機関との連携

(1) 平和講話

設立理念にもある沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、もって恒久平和の樹立に寄与するということを実践したものに県内の小中高校、特別支援学校に対する平和学習支援がある。

平和学習等で常設展示を見学に来る児童生徒に対して観覧前に学芸員が行うオリエンテーショナルな平和講話を実施している。時間は50分程度で、内容は沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや沖縄戦の経緯、常設展示の見所、平和のために何ができるか等を考えさせるものとなっている。

[平成25年度 平和講話実施状況] 総計137校(12,973名)

- ・小学校101校(9,074名) ・中学校14校(2,364名)
- ・高等学校11校(1,193名) ・特別支援学校3校(107名)
- ・教育委員会他8団体(235名)



祈念ホールでの平和講話の様子

(2) 博物館学芸員実習

当館では、県内外の大学の要望に応じて、当館学芸員の指導により学芸員資格取得のための学芸業務(資料収集・保存活動、展示活動、教育普及活動)全般に係わる研修を実施し、学芸員としての自覚の醸成と基礎的知識や技能を習得する機会を提供した。

[期間]

平成25年8月12日(月)～8月19日(月)
日を除く(7日間)

[内容]

- ① 資料整理・分類・登録
- ② 展示準備・企画展への参加
- ③ 野外実習(近隣の戦跡、類似館の見学)
- ④ 調査研究
- ⑤ 教育普及(平和講話資料作成)

[実習生]

沖縄国際大学3名
南九州大学1名
計4名



轟の壕でのフィールドワークの様子

(3) 児童・生徒の職場体験（インターンシップ）

児童生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの児童生徒を受け入れています。平成 25 年度は、公立中学校から 1 名、県立高校 2 校から 5 名、専修学校インターナショナルデザインアカデミーから 2 名のインターンシップ生を受け入れました。

インターンシップ生を受け入れる事により、当館職員もサービスの向上に向けて再認識し資料館の活性化にもつながりました。

インターンシップを体験した生徒の皆さんそれぞれが、自分の個性を発揮し、将来地域のために活躍できる人物になることを期待しています。

[学校名・人数・期間]

- ① 沖縄市立沖縄東中学校（1 名） 6 月 18 日（火）～ 20 日（木）
- ② 県立糸満高等学校（3 名） 11 月 13 日（水）～ 15 日（金）
- ③ 県立向陽高等学校（3 名） 12 月 4 日（水）～ 6 日（金）
- ④ 専修学校インターナショナルデザインアカデミー（2 名） 3 月 4 日（火）～ 6 日（木）



事務体験をする向陽高校生



レプリカ作成体験をする向陽高校生

3 講座・講習会・研修会

(1) 沖縄戦講座

シンポジウム「ハワイ日系二世兵士の見た戦争と沖縄」開催報告

昨年11月30日、元陸軍情報部通訳兵のタケジロウ・ヒガ氏、ハーバート・ヤナムラ氏を当資料館にお迎えし、シンポジウム「ハワイ日系二世兵士の見た戦争と沖縄」を開催しました。シンポジウム当日は300名以上の来場者を迎え、230名収容の祈念ホールが満員になり、立ち見、通路に座る県民であふれるほどでした。

ヤナムラ氏は沖縄戦当時の6月、糸満市真栄平地区での日本語の呼びかけで1000人以上の住民や日本兵が投降してきた様子を語った。タケジロウ氏はうちなーぐちでのガマでの呼びかけや、同級生や恩師との偶然の再会の様子などを語った。真珠湾攻撃以降、日系人が敵性国人として差別されアメリカ軍に忠誠を示すために米軍に志願するも、両親の祖国に銃を持って帰ってこなければならなくなった二人の苦悩とウムイを会場全体が共有し、沢山の県民が涙した。



体験を語るタケジロウ・ヒガ氏



体験を語るハーバート・ヤナムラ氏



あいさつする両氏



コーディネーターの島袋氏

(2) 沖縄県平和祈念資料館講習会

当館への案内業務に携わっている旅行・観光等の関係機関に携わる方々に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容等について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に講習会を実施しました。

[日 時] 平成 25 年 7 月 10 日 (水) 13:00 ~16:00

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 祈念ホール

[対 象] タクシー乗務員・バスガイド・ボランティア・観光等関係者

[講習内容] 平和祈念公園及び資料館施設説明・展示内容・沖縄戦の特徴

[受講者] 64 名



(3) 高校、特別支援、養護、幼稚園教諭初任研教諭の初任者研修

県立高校において本年度新採用された教諭を対象とする初任者研修。沖縄の歴史と文化をはじめ、沖縄戦の概要、資料館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容等について理解・認識を深めてもらい、教育現場で大いに活用してもらうために沖縄県立総合教育センターが主催。当館は会場の提供と講師 2 名を派遣し、研修の充実に努めた。

[日時] 平成 25 年 8 月 14 日 (水) 午前 9 時半～午後 4 時

[場所] 沖縄県平和祈念資料館 1 階祈念ホール

[受講者] 199 名

[講義] ①学校における平和学習・教育に望むもの

②沖縄戦と戦後復興

(4) 島尻地区小中教職員 10 年経験者研修会

教諭、助教諭及び講師としての在職期間が 10 年に達した者に対して、個々の能力、適性等に応じて研修を実施し、教諭等としての資質の向上を図ることを目的とした「10 年経験者研修」がある。今回、島尻地区の 10 年目を迎える先生方が当館で、研修を行った。参観だけでなく、当館の利用の仕方について講話を行った。

[日時] 平成 25 年 8 月 2 日 (金) 午前 11 時 40～午後
12 時 20 分

[参加人数] 島尻管内市町村指導主事含め 35 名



(5) 糸満市初任者研修会

糸満市の初任者の幅広い知見と資質の向上を図るとともに、地域に根ざした学校教育の推進に努め、教師としての実践的指導力と使命感を養うために当館で研修を行った。

[日時] 平成 25 年 8 月 23 日 (金) 午前 13 時 30～
午後 15 時 00 分

[参加人数] 糸満市市指導主事含め 17 名

(6) 沖縄県新規職員採用後期研修者への講義

沖縄県の新規採用職員を対象に県職員としての教養や資質の向上のための、沖縄県自治研究所が主催する研修会。多くの県職員に対して当館の県立機関としての存在意義を広く周知するために新採用職員を対象に沖縄戦の概要や資料館の働き等について理解してもらう講義を提供した。

[日時] 平成 25 年 10 月 1 日 (火) ・ 22 日 (火) 14 時 40 分～16 時 00 分

[場所] 沖縄県自治研修所

[受講者] 109 名

VI 広報活動・出版等

1 2013JICA国際協力・交流フェスティバル

「沖縄県平和祈念資料館事業展」の紹介

平和祈念資料館は、「世界の人々に平和を希求する私たちの心を訴え、世界の恒久平和の樹立に寄与する」という設立理念のもと様々な事業を展開している。Jica沖縄国際センターにおいて沖縄県平和祈念資料館から発信される事業の成果を発表した。

[日時] 平成25年11月 9日（土）～10日（日） 午前10:00～午後6:00

[場所] JICA沖縄国際センター本館2階（201室）

[入場者数] 5,936人（フェスティバル全体の数）

[内容] 今年度は、平和祈念資料館の事業概要を中心に展示を行った。特に昨年度からの継続事業である、「子や孫につなぐ平和のウミ事業」の成果報告展の一部を、パネル・冊子・映像で紹介した。これは戦争体験者が、その記憶を家族に語り継ぐ様子を撮影した映像（合計350件）からのものである。



展示会場の様子

2 刊行物

○『沖縄県平和祈念資料館年報 第13号』

平成25年度の当館事業の実績報告に係わる行政資料。入館者の概要事業内容や活動内容等をまとめる。A4版87頁、500部を6月に刊行。

○「沖縄県平和祈念資料館だより」

平成25年度の資料館事業報告や事業計画等について周知させる広報誌。今年度は25号、26号をそれぞれ8月15日と3月25日にA4版8頁、各2,500部発行し、県内関係機関に配布し当館事業へのご理解とご協力を図っている。

○『ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄』

ハワイウチナーンチュの沖縄へのウミイ特別企画展の展示図録。A4版68頁、1,000部を10月10日に刊行。

○『第23回児童・生徒の平和メッセージ展実施報告書』

第23回の児童・生徒の平和メッセージ展に係わる実績報告書。展示会の模様、募集要項、図画・作文・詩の最優秀・優秀作品入選作品等が掲載される。

A4版80頁、1,000部を10月30日に刊行。

VII その他の事業

1 「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」

当館では、これまでも年間20名程の体験記録の収集・発信等に努めてきた。しかし戦後68年が経過し、戦争体験者が減少していくなか、沖縄戦の教訓を次代へ継承し、平和創造の原動力とする必要があると考えている。そこで、昨年度より復帰40周年記念事業の一つとして『子や孫につなぐ平和のウムイ事業』を実施している。これは、大きくわけて二つの事業から構成されている。一つは、これまで当館が行ってきた戦争体験者の証言を収録・編集する『戦争体験証言収録事業』の拡大版で、50件を収録した（現在編集中。平成25年度中に公開予定）。もう一つは、『家族に語り継ぐ平和のウムイ事業』で県民参加型の取組。県民自らが、祖父母や父母の戦争体験を子や孫に語る様子を撮影し応募するというものである。300件の収録・編集を完了し、当館の映像ブースで9月28日より公開している。また、同日に当館1階平和祈念ホールにて、「沖縄戦の教訓をどのようにして次代に継承していくのか」と題してシンポジウム（基調講演+パネルディスカッション）を開催。さらに県内7カ所で成果報告展を実施した。同展では証言映像とその紹介パネル、証言冊子をご覧頂いた。それぞれの映像は、平成26年度より県内外へ貸出しも実施する予定である。

[期間] 平成25年度～26年度

[シンポジウム『沖縄戦の教訓をどのようにして次代へ継承していくのか』]

平成25年9月28日（土）沖縄県平和祈念資料館1階 平和祈念ホール

基調講演講師：吉浜 忍 氏（沖縄国際大学教授）

パネルディスカッション コーディネーター：栗原 望 氏（NHK 沖縄放送局アナウンサー）

パネリスト：與古田 光順 氏（沖縄戦体験者）

玉元 三奈美 氏（世界若者ウチナーチユ連合会代表）

宮城 麻里子 氏（フリーアナウンサー）

吉浜 忍 氏（沖縄国際大学教授）

[成果報告展] 平成25年9月28日（土）～平成26年1月19日（日）

①沖縄県平和祈念資料館（9/28～10/6） ⑤イオン名護店（11/26～12/2）

②八重山平和祈念館（10/10～10/20） ⑥イオン具志川店（12/4～12/10）

③久米島博物館（11/1～11/7）

⑦コープあっぷるタウン（平成26年1/14～1/19）

④宮古島市総合博物館（11/13～11/19）



「家族に語り継ぐ平和のウムイ事業」にご参加頂いた、當銘ふみさんご家族

2 「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業プロジェクト

【期間】 平成 24 年度～平成 26 年度

【内容】

「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業は、平成 24 年度から 26 年度までの草の根技術協力事業として、2012 年 1 月 12 日に採択された。本事業は、自文化への誇りを醸成するとともに歴史的教訓を次代に継承し、平和文化の創造、推進、発信がなされる博物館づくりを大きな目標とし、沖縄県が有する博物館活動のスキルや情熱をカンボジア側と共有することを目的としている。

2 年目の本年度は 9 月 30 日～10 月 30 日まで 1 ヶ月間、カンボジア国立博物館及びトゥールスレン虐殺博物館のスタッフ各 2 名の合計 4 名が研修員として来沖した。また、10 月 24 日から 30 日までは、特別に文化芸術省遺産局博物館副部長（国立博物館副館長）が参加する。県立博物館を中心に、沖縄県平和祈念資料館や九州国立博物館などで行い、延べ、39 コマの講義や実習、出前授業を行った。研修員は自身の課題を持ち、その解決やヒントを得るために真摯に研修に取り組んだ。

○2 年目日本研修（国立博物館・TSGM 職員が沖縄で研修）

【期間】 平成 25 年 9 月 30 日（月）～10 月 30 日（水）

【研修者】 Ms.HORL Sopheap（ホル ソピ アップ） 国立博物館資料保存担当

Mr. TIT Sokha（ティッ ソッカ）国立博物館目録担当

Mr. KEO Moniroth（ケオ モニロー） TSGM 副館長

Mr. CHHEM Sokchamroeun（チェム ソッチョムラン） TSGM 職員

○写真企画展「カンボジアの光と影Ⅱ」巡回展

【目的】 本展では、研修員自らが写真データを持参し、展示構成、パネル製作を行い、沖縄県立博物館・美術館で開催。カンボジアの歴史と文化の理解を促すために、そして入館者促進のため、当館においても巡回展として開催した。

【場所】 沖縄県平和祈念資料館玄関ロビー（スロープ横）

【期間】 平成 25 年 12 月 1 日（日）～12 月 20 日（金）

【展示内容】

- ・ B2 版写真パネル約 60 枚で構成
- ・ カンボジア国立博物館が所蔵する 6～8 世紀の前アンコール王朝の石彫物の写真
- ・ 国立トゥール・スレン博物館が所蔵する写真、文書、絵などの写真
- ・ 2013 年研修内容についても紹介

○フォローアップ研修（カンボジアへの当館職員の派遣）

【期間】 平成 26 年 1 月 11 日（土）～1 月 19 日（日）

【研修担当者】 真栄平 房佳 学芸主査（沖縄県平和祈念資料館）



3 第14回特別企画展「ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄」ハワイ移動展 第2回「児童生徒の平和メッセージ展 in Hawaii」

当館では2014年2月1日から4日まで、ハワイ州パールハーバーにあるPACIFIC AVIATION MUSEUM(太平洋航空博物館)において、先に当資料館で開催した第14回特別企画展「ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄」の移動企画展を開催した。太平洋航空博物館スタッフの協力により実現したこの移動企画展は博物館内展示室の1室をお借りし、全世界から訪れる観光客の方々に、ハワイにおける県系人の移民の様子、沖縄戦にMISとして参戦し、住民に投降を呼びかけた二世兵士の物語、そして戦後ハワイから寄付を募り沖縄を支援した方々の努力などを紹介した写真や実物資料、英訳したパネルなどを展示した。



太平洋航空博物館内展示の様子

開催期間中、地元ハワイをはじめ、ヨーロッパやアメリカ本土、カナダ、韓国、中国、香港など様々な国の方々が企画展を訪れ、二世兵士の沖縄戦でのストーリーを興味深く読み込んでいる姿が見られた。しかし、企画展の内容を説明し始めようとする、沢山の人が「沖縄」という地名すら知らなかった。「広島、長崎への原爆投下の2ヶ月ほど前に、沖縄という小さな島で20万人以上の命を奪った住民を巻き込んだ地上戦があった」ということを説明すると皆一様にびっくりし、初めて聞いたという人がほとんどだった。改めて、沖縄からの情報発信力の不足を痛感した。説明を聞いた方々は「日系アメリカ人の活躍を初めて知った。どんどん世界に発信し続けて欲しい。」と沢山の励ましの言葉をいただいた。最終日には、館内でガイドをしている真珠湾攻撃を経験した方々も、本日が最終日だと沢山の観光客を展示室まで案内してくれた。



ハワイ沖縄県人会での展示の様子

今回、「太平洋戦争が始まったパールハーバー」で、「住民を巻き込んだ唯一の地上戦である沖縄戦」を紹介できたことは、大変意義深い取り組みが実現したと考えている。パールハーバーでも世代交代が進み、真珠湾からの平和発信を模索しており、大変協力的で、10年前では考えられなかったような取り組みだ。今後ともハワイと沖縄から太平洋戦争を通じて平和を次の世代に発信していく企画の充実を図っていきたい。

更に2月7日から10日にかけては、ハワイ沖縄センターセリカク茶屋で同移動企画展と第2回「児童生徒の平和メッセージ展 in Hawaii」を開催した。昨年度同様沢山の県系関係者を中心に来場して下さった。今回、1949年の「ハワイからの山羊輸送」の映像と、「LIFE IN HAWAII」(1965)を上映した。この自費制作映画はMISとして沖縄戦に参戦し、ハワイからの沖縄への戦後支援のきっかけを作った比嘉太郎氏が私費を投じて移民60周年を記念して制作したもので、当時の県系人の様子が生き生きと描かれた作品である。

来場者全員が当時の懐かしいハワイの様子に感動し、中には偶然亡くなった父親の若き日の姿を発見した方もいらっしやった。山羊輸送の映像は、誰も見たことがないので、有名な豚の支援にかくれた山羊輸送の様子を見ることができ大変喜ばれた。企画展の目玉である元日系二世通訳兵、ヒガタケジロウさん、ハーバート・ヤナムラさん、ギマ・シンエイさんも来場し、来場者に体験談も話ってくれ、大いに盛り上がった。今後も継続して平和メッセージ展、そして移動企画展などを県内外で開催していきたい。

VII 入館者状況

1 月別入館者数

年月	個人入館者数 ※1			団体入館者数 ※1			入館者総数 ※1			開館 日数	一日平均 入館者数 ※1	入館者 総数 ※2
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計			
2013年4月	6,090 (380)	786 (66)	6,876 (446)	2,088 (264)	16,296 (2,636)	18,384 (2,900)	8,178 (644)	17,082 (2,702)	25,260 (3,346)	30	842	37,502
2013年5月	5,803 (250)	668 (93)	6,471 (343)	4,017 (571)	34,613 (6,393)	38,630 (6,964)	9,820 (821)	35,281 (6,486)	45,101 (7,307)	31	1,455	55,208
2013年6月	7,947 (2,713)	2,173 (1,480)	10,120 (4,193)	3,556 (411)	23,717 (4,211)	27,273 (4,622)	11,503 (3,124)	25,890 (5,691)	37,393 (8,815)	30	1,246	53,422
2013年7月	6,398 (303)	1,243 (74)	7,641 (377)	877 (176)	5,044 (1,775)	5,921 (1,951)	7,275 (479)	6,287 (1,849)	13,562 (2,328)	31	437	23,216
2013年8月	10,402 (712)	3,418 (46)	13,820 (758)	1,085 (8)	1,392 (94)	2,477 (102)	11,487 (720)	4,810 (140)	16,297 (860)	31	526	27,650
2013年9月	6,725 (124)	460 (39)	7,185 (163)	1,007 (34)	9,214 (300)	10,221 (334)	7,732 (158)	9,674 (339)	17,406 (497)	30	580	24,810
2013年10月	5,569 (191)	438 (55)	6,007 (246)	3,688 (78)	45,881 (1,187)	49,569 (1,265)	9,257 (269)	46,319 (1,242)	55,576 (1,511)	31	1,793	60,787
2013年11月	6,251 (294)	495 (108)	6,746 (402)	3,725 (234)	40,809 (2,117)	44,534 (2,351)	9,976 (528)	41,304 (2,225)	51,280 (2,753)	30	1,709	57,959
2013年12月	5,111 (390)	666 (87)	5,777 (477)	3,334 (108)	37,033 (1,229)	40,367 (1,337)	8,445 (498)	37,699 (1,316)	46,144 (1,814)	28	1,648	51,801
2014年1月	5,637 (223)	582 (32)	6,219 (255)	1,618 (148)	13,738 (713)	15,356 (861)	7,255 (371)	14,320 (745)	21,575 (1,116)	28	771	29,195
2014年2月	6,536 (197)	530 (17)	7,066 (214)	2,019 (117)	14,837 (181)	16,856 (298)	8,555 (314)	15,367 (198)	23,922 (512)	28	854	32,709
2014年3月	7,794 (321)	1,655 (13)	9,449 (334)	1,808 (32)	10,638 (81)	12,446 (113)	9,602 (353)	12,293 (94)	21,895 (447)	31	706	33,549
合 計	80,263 (6,098)	13,114 (2,110)	93,377 (8,208)	28,822 (2,181)	253,212 (20,917)	282,034 (23,098)	109,085 (8,279)	266,326 (23,027)	375,411 (31,306)	359	1,046	487,808

() は内数で無料入場者数

※1 は平和祈念資料館2階常設展示室に入室した人数

※2 は平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数

2 年度別入館者数

年度別	有料観覧											開館 日数	平均	
	観覧券種別					出身別								
	大人個人 (%)		小人個人 (%)		小人団体 (%)		県内		県外		外国			
	大人個人 (%)	大人団体 (%)	小人個人 (%)	小人団体 (%)	小人個人 (%)	小人団体 (%)	県内	県外	外国	外国	外国			
2000年度	161,361 (38)	71,140 (17)	24,658 (6)	163,644 (39)	111,401	305,812	3,590	420,803	60,215	481,018	310	1,552		
2001年度	111,197 (37)	62,902 (21)	18,195 (6)	107,802 (36)	43,820	251,983	4,293	300,096	36,149	336,245	313	1,074		
2002年度	97,221 (29)	40,624 (12)	17,362 (5)	184,047 (54)	27,955	307,328	3,971	339,254	39,539	378,793	314	1,206		
2003年度	101,015 (27)	37,618 (10)	17,236 (5)	214,535 (58)	29,643	337,730	3,031	370,404	36,748	407,152	317	1,284		
2004年度	91,980 (26)	33,004 (9)	16,329 (5)	215,603 (60)	31,597	321,305	4,014	356,916	37,195	394,111	312	1,263		
2005年度	96,355 (25)	35,303 (9)	18,972 (5)	230,791 (61)	41,577	336,415	3,429	381,421	34,741	416,162	314	1,325		
2006年度	107,813 (26)	33,767 (8)	21,342 (5)	253,821 (61)	14,330	398,291	4,122	416,743	32,987	449,730	359	1,253		
2007年度	107,767 (26)	35,679 (9)	20,563 (5)	245,093 (60)	13,504	390,661	4,937	409,102	30,394	439,496	358	1,228		
2008年度	96,789 (24)	32,933 (8)	18,998 (5)	252,573 (63)	8,985	388,269	4,039	401,293	31,870	433,163	359	1,207		
2009年度	86,412 (23)	34,241 (9)	16,252 (4)	237,756 (64)	9,634	358,583	6,444	374,661	32,712	407,373	359	1,135		
2010年度	81,124 (22)	31,767 (9)	15,092 (4)	234,255 (65)	9,906	345,521	6,811	362,238	33,992	396,230	355	1,116		
2011年度	69,648 (19)	28,662 (8)	11,586 (3)	249,400 (70)	9,199	344,282	5,815	359,296	32,336	391,632	355	1,103		
2012年度	70,341 (21)	29,600 (9)	10,469 (3)	227,827 (67)	8,869	322,946	6,422	338,237	29,318	367,555	352	1,044		
2013年度	74,165 (22)	26,641 (8)	11,004 (3)	232,295 (68)	7,947	328,333	7,825	344,105	31,306	375,411	359	1,046		
累計								5,174,569	499,502	5,674,071	4,736	1,198		

0

参考

慰霊の日無料入館者数

年度	入館者数	年度	入館者数
2000年度	4,966	2007年度	3,785
2001年度	3,157	2008年度	4,257
2002年度	4,750	2009年度	4,649
2003年度	4,259	2010年度	5,479
2004年度	4,849	2011年度	3,665
2005年度	3,815	2012年度	3,240
2006年度	2,813	2013年度	3,797
	合計		28,609

3. 月別県内・県外学校、少年の船等団体観覧状況

月	児童・生徒・学生												少年の船・青年の船等		合計				
	県内						県外						県内・県外総計						
	小学校	中学校	高等学校	大学	計		小学校	中学校	高等学校	大学	計		小学校	中学校		高等学校	大学	計	
4月	17 (17)	84 (1,734)	1 (0)	3 (2)	0 (0)	21 (19)	105 (0)	10,984 (1,734)	2,197 (0)	256 (0)	19 (0)	128 (0)	18 (17)	106 (0)	22 (2)	3 (0)	149 (19)	7 (6)	156 (25)
人数	1,738 (1,734)	84 (0)	671 (593)	0 (0)	2,493 (2,327)	27 (0)	10,984 (1,734)	2,197 (0)	256 (0)	19 (0)	128 (0)	18 (17)	106 (0)	22 (2)	3 (0)	15,957 (2,327)	339 (309)	16,296 (2,636)	
5月	40 (40)	1,166 (4,166)	7 (7)	606 (606)	22 (0)	55 (54)	189 (0)	23,558 (6,101)	4,171 (17)	42 (0)	28 (0)	223 (1)	45 (40)	196 (7)	35 (8)	2 (0)	278 (55)	12 (10)	290 (65)
人数	4,166 (4,166)	1,329 (1,329)	606 (606)	22 (0)	6,123 (6,101)	230 (0)	23,558 (6,101)	4,171 (17)	42 (0)	28 (0)	28,001 (1,734)	28,001 (1,734)	4,396 (4,166)	24,887 (3,299)	4,777 (623)	64 (0)	34,124 (6,118)	489 (275)	34,613 (6,393)
6月	34 (33)	2,599 (2,599)	9 (9)	517 (517)	115 (0)	50 (47)	76 (0)	10,603 (4,124)	8,148 (0)	84 (0)	19,090 (0)	19,090 (0)	2,854 (2,544)	11,666 (1,063)	8,665 (517)	199 (0)	23,384 (4,124)	267 (87)	23,651 (4,211)
人数	2,599 (2,544)	1,063 (1,063)	517 (517)	115 (0)	4,294 (4,124)	255 (0)	10,603 (0)	8,148 (0)	84 (0)	19,090 (0)	19,090 (0)	2,854 (2,544)	11,666 (1,063)	8,665 (517)	199 (0)	23,384 (4,124)	267 (87)	23,651 (4,211)	
7月	7 (7)	574 (574)	4 (4)	318 (318)	24 (0)	13 (12)	110 (0)	1,795 (1,771)	2,492 (0)	0 (0)	2,690 (0)	2,690 (0)	662 (574)	989 (879)	2,810 (318)	24 (0)	4,485 (1,771)	559 (4)	5,044 (1,775)
人数	574 (574)	879 (879)	318 (318)	24 (0)	1,795 (1,771)	88 (0)	1,795 (1,771)	2,492 (0)	0 (0)	2,690 (0)	2,690 (0)	662 (574)	989 (879)	2,810 (318)	24 (0)	4,485 (1,771)	559 (4)	5,044 (1,775)	
8月	4 (1)	236 (94)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	2 (0)	236 (94)	34 (0)	43 (0)	6 (0)	55 (0)	4 (3)	216 (2)	8,387 (249)	272 (0)	8,829 (249)	226 (0)	9,101 (300)
人数	14 (14)	862 (862)	36 (289)	289 (289)	21 (0)	1,208 (1,187)	1,337 (0)	43,071 (0)	123 (0)	44 (0)	34 (0)	437 (0)	280 (94)	34 (0)	316 (0)	43 (0)	673 (94)	719 (0)	1,392 (65)
9月	28 (28)	1,797 (1,797)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	31 (30)	16 (0)	1,836 (2,009)	36,556 (0)	0 (0)	38,606 (0)	38,606 (0)	2,011 (1,797)	2,048 (212)	36,556 (0)	23 (0)	40,638 (2,009)	171 (108)	40,809 (2,117)
人数	1,797 (1,797)	212 (212)	0 (0)	0 (0)	2,032 (2,009)	214 (0)	1,836 (2,009)	36,556 (0)	0 (0)	38,606 (0)	38,606 (0)	2,011 (1,797)	2,048 (212)	36,556 (0)	23 (0)	40,638 (2,009)	171 (108)	40,809 (2,117)	
10月	14 (14)	1,041 (1,041)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	38 (1)	1,116 (1,116)	32,548 (0)	16 (16)	35,762 (18)	35,762 (18)	1,057 (1,057)	3,239 (77)	32,548 (0)	34 (0)	36,878 (1,134)	155 (95)	37,033 (1,229)
人数	1,041 (1,041)	75 (75)	0 (0)	0 (0)	1,116 (1,116)	16 (16)	3,164 (2)	32,548 (0)	16 (16)	35,762 (18)	35,762 (18)	1,057 (1,057)	3,239 (77)	32,548 (0)	34 (0)	36,878 (1,134)	155 (95)	37,033 (1,229)	
11月	2 (2)	183 (183)	197 (197)	3 (3)	0 (0)	400 (0)	736 (0)	12,225 (0)	13,083 (0)	0 (0)	14,626 (1)	14,626 (1)	199 (61)	1,405 (0)	13,083 (0)	0 (0)	14,687 (62)	148 (119)	14,835 (181)
人数	183 (183)	197 (197)	3 (3)	0 (0)	400 (0)	736 (0)	12,225 (0)	13,083 (0)	0 (0)	14,626 (1)	14,626 (1)	199 (61)	1,405 (0)	13,083 (0)	0 (0)	14,687 (62)	148 (119)	14,835 (181)	
12月	3 (3)	61 (61)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	2 (0)	13,083 (0)	13,083 (0)	0 (0)	14,626 (1)	14,626 (1)	199 (61)	1,405 (0)	13,083 (0)	0 (0)	14,687 (62)	148 (119)	14,835 (181)
人数	61 (61)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	2 (0)	13,083 (0)	13,083 (0)	0 (0)	14,626 (1)	14,626 (1)	199 (61)	1,405 (0)	13,083 (0)	0 (0)	14,687 (62)	148 (119)	14,835 (181)
1月	167 (162)	13,529 (13,305)	3,875 (3,791)	2,421 (2,323)	205 (0)	2,030 (1,949)	54,667 (2)	172,701 (18)	880 (0)	229,371 (36)	1,481 (4)	1,481 (4)	193 (163)	500 (26)	978 (18)	27 (0)	1,698 (207)	104 (39)	1,802 (246)
人数	167 (162)	13,529 (13,305)	3,875 (3,791)	2,421 (2,323)	205 (0)	2,030 (1,949)	54,667 (2)	172,701 (18)	880 (0)	229,371 (36)	1,481 (4)	1,481 (4)	193 (163)	500 (26)	978 (18)	27 (0)	1,698 (207)	104 (39)	1,802 (246)
2月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
人数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
3月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
人数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
4月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
人数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

() 内は内数で無料入館者数

4 市町村別団体入館者数

市町村名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 那覇市	35	3,503	2	328	2	250	1	52	40	4,133	30	1,426	70	5,559
2 うるま市	12	981	2	468	2	286	0	0	16	1,735	6	329	22	2,064
3 宜野湾市	3	409	1	242	0	0	2	44	6	695	4	154	10	849
4 宮古島市	12	527	0	0	0	0	0	0	12	527	1	78	13	605
5 石垣市	8	487	0	0	0	0	0	0	8	487	1	84	9	571
6 浦添市	10	1,236	3	717	1	289	0	0	14	2,242	9	717	23	2,959
7 名護市	10	670	1	20	0	0	1	24	12	714	1	85	13	799
8 糸満市	10	718	6	469	1	224	0	0	17	1,411	4	203	21	1,614
9 沖縄市	11	1,196	4	614	3	546	1	22	19	2,378	7	373	26	2,751
10 豊見城市	8	841	1	192	1	31	0	0	10	1,064	3	130	13	1,194
11 南城市	9	456	2	155	0	0	0	0	11	611	3	138	14	749
12 国頭村	3	56	0	0	0	0	0	0	3	56	1	58	4	114
13 大宜味村	1	13	0	0	0	0	0	0	1	13	0	5	1	18
14 東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 今帰仁村	3	95	0	0	0	0	0	0	3	95	0	10	3	105
16 本部町	2	102	0	0	0	0	0	0	2	102	1	36	3	138
17 恩納村	2	48	0	0	0	0	0	0	2	48	0	7	2	55
18 宜野座村	3	67	0	0	1	20	0	0	4	87	0	13	4	100
19 金武町	2	116	0	0	0	0	0	0	2	116	0	11	2	127
20 伊江村	1	30	0	0	0	0	0	0	1	30	0	5	1	35
21 読谷村	4	454	0	0	1	318	0	0	5	772	2	85	7	857
22 嘉手納町	0	6	1	84	2	98	0	0	3	188	39	1,447	42	1,635
23 北谷町	1	70	1	197	1	22	0	0	3	289	2	110	5	399
24 北中城村	1	122	1	185	1	275	0	0	3	582	1	52	4	634
25 中城村	1	64	0	0	0	0	0	0	1	64	1	31	2	95
26 西原町	3	249	1	204	1	34	1	63	6	550	0	33	6	583
27 八重瀬町	3	308	0	0	0	0	0	0	3	308	0	11	3	319
28 与那原町	2	223	0	0	0	0	0	0	2	223	1	32	3	255
29 南風原町	3	366	0	0	1	28	0	0	4	394	6	255	10	649
30 久米島町	3	85	0	0	0	0	0	0	3	85	0	13	3	98
31 渡嘉敷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 座間味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 粟国村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34 渡名喜村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35 南大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36 北大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37 伊平屋村	1	22	0	0	0	0	0	0	1	22	0	4	1	26
38 伊是名村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39 多良間村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40 竹富町	0	9	0	0	0	0	0	0	0	9	1	15	1	24
41 与那国町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	167	13,529	26	3,875	18	2,421	6	205	217	20,030	124	5,950	341	25,980

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

5 都道府県別団体入館者数

都道府県名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 北海道	1	62	0	0	19	2,701	1	41	21	2,804	7	375	28	3,179
2 青森県	0	0	0	0	3	220	1	55	4	275	5	253	9	528
3 岩手県	0	0	4	297	6	549	0	0	10	846	1	84	11	930
4 宮城県	0	0	0	0	10	917	0	0	10	917	7	278	17	1,195
5 秋田県	0	0	1	105	0	0	0	0	1	105	2	95	3	200
6 山形県	0	0	5	543	4	295	0	0	9	838	5	226	14	1,064
7 福島県	0	2	0	0	24	4,479	1	42	25	4,523	6	411	31	4,934
8 茨城県	0	0	0	0	35	6,627	0	0	35	6,627	7	632	42	7,259
9 栃木県	0	0	1	258	38	6,827	0	0	39	7,085	0	441	39	7,526
10 群馬県	1	42	0	0	30	4,280	1	34	32	4,356	6	526	38	4,882
11 埼玉県	0	0	0	0	75	18,823	2	107	77	18,930	12	1,524	89	20,454
12 千葉県	0		0	0	58	13,661	1	20	59	13,681	10	1,053	69	14,734
13 東京都	1	27	12	1,502	192	34,142	6	230	211	35,901	61	4,876	272	40,777
14 神奈川県	2	41	7	958	95	19,092	2	56	106	20,147	14	1,396	120	21,543
15 新潟県	0	0	2	143	12	2,425	0	0	14	2,568	2	189	16	2,757
16 富山県	0	0	3	384	1	78	0	0	4	462	6	218	10	680
17 石川県	0	0	0	0	6	1,005	0	0	6	1,005	2	98	8	1,103
18 福井県	0	0	0	0	6	753	0	0	6	753	2	125	8	878
19 山梨県	0	0	0	0	23	4,207	0	0	23	4,207	2	339	25	4,546
20 長野県	0	0	0	0	48	7,978	0	0	48	7,978	2	460	50	8,438
21 岐阜県	0	0	1	155	42	8,122	0	0	43	8,277	4	573	47	8,850
22 静岡県	2	73	2	187	69	10,097	1	50	74	10,407	7	854	81	11,261
23 愛知県	1	26	8	1,411	56	9,672	2	164	67	11,273	11	954	78	12,227
24 三重県	0	0	13	1,481	14	2,986	0	0	27	4,467	2	366	29	4,833
25 滋賀県	0	0	21	2,843	3	510	1	23	25	3,376	5	446	30	3,822
26 京都府	2	64	24	3,306	10	1,427	0	0	36	4,797	2	444	38	5,241
27 大阪府	2	102	94	13,517	16	2,985	0	0	112	16,604	11	1,585	123	18,189
28 兵庫県	1	54	53	7,691	14	2,510	1	19	69	10,274	4	979	73	11,253
29 奈良県	0	0	24	2,608	0	0	0	0	24	2,608	3	267	27	2,875
30 和歌山県	0	0	7	357	0	0	0	0	7	357	2	105	9	462
31 鳥取県	0	0	10	968	0	0	0	0	10	968	6	241	16	1,209
32 島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	23	1	23
33 岡山県	0	0	60	5,723	6	198	0	0	66	5,921	4	619	70	6,540
34 広島県	1	79	15	940	10	1,713	0	0	26	2,732	2	264	28	2,996
35 山口県	0	0	1	25	5	444	0	0	6	469	2	75	8	544
36 徳島県	0	0	4	487	1	76	0	0	5	563	2	102	7	665
37 香川県	0	0	16	2,407	1	97	0	0	17	2,504	4	286	21	2,790
38 愛媛県	0	0	0	0	9	648	1	39	10	687	3	168	13	855
39 高知県	0	0	21	1,638	1	28	0	0	22	1,666	0	130	22	1,796
40 福岡県	1	78	18	1,631	9	1,458	0	0	28	3,167	21	1,944	49	5,111
41 佐賀県	1	26	6	407	0	0	0	0	7	433	3	104	10	537
42 長崎県	0	0	2	157	1	262	0	0	3	419	3	158	6	577
43 熊本県	0	0	23	1,779	2	90	0	0	25	1,869	6	354	31	2,223
44 大分県	0	0	3	80	2	110	0	0	5	190	2	85	7	275
45 宮崎県	0	0	10	575	2	103	0	0	12	678	5	294	17	972
46 鹿児島県	10	447	3	104	2	106	0	0	15	657	6	261	21	918
合計	26	1,123	474	54,667	960	172,701	21	880	1,481	229,371	280	25,280	1,761	254,651
47 沖縄県	167	13,529	26	3,875	18	2,421	6	205	217	20,030	124	5,950	341	25,980

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

IX 八重山平和祈念館

1 概要

「戦争マラリア」の実相を後世に正しく伝えるとともに、人間の尊厳が保障される社会の構築と、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える「平和の発信拠点」の形成をめざす。

(1) 設立経過

1989（平成元）年

5月28日 戦争マラリア犠牲者の遺族らが、篠原武夫琉球大学教授を会長に「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者支援会」結成。国家補償を求めて活動を開始する。

10月16日 沖縄県議会（9月定例会）において、「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者の遺族補償に関する意見書」を決議される。

1995（平成7）年

12月25日 平成8年度国庫予算において、事務次官折衝の中でマラリア慰藉事業費として総額3億円が認められる。

慰藉事業の内訳は、次のとおりである。

- ① 慰霊碑建立
- ② 八重山平和祈念館建設
- ③ マラリア死没者慰藉の資料収集・編纂『悲しみをのり越えて』発行等
- ④ マラリア死没者慰藉のための追悼式

1997（平成9）年

3月31日 八重山平和祈念館竣工

1998（平成10）年

1月～ 八重山平和祈念館基本計画検討委員会開催（3月まで）

5月 八重山平和祈念館基本計画策定

11月～ 八重山平和祈念館監修委員会開催（平成11年2月まで）
八重山平和祈念館展示設計及び展示製作業務発注
（平成11年3月まで）

1999（平成11）年

3月 「沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例」議決・公布
「八重山平和祈念館」は「沖縄県平和祈念資料館」の分館となる。

5月28日 八重山平和祈念館開館式

5月29日 八重山平和祈念館一般公開

(2) 施設の概要

① 総面積 : 520 m²

② 各室面積

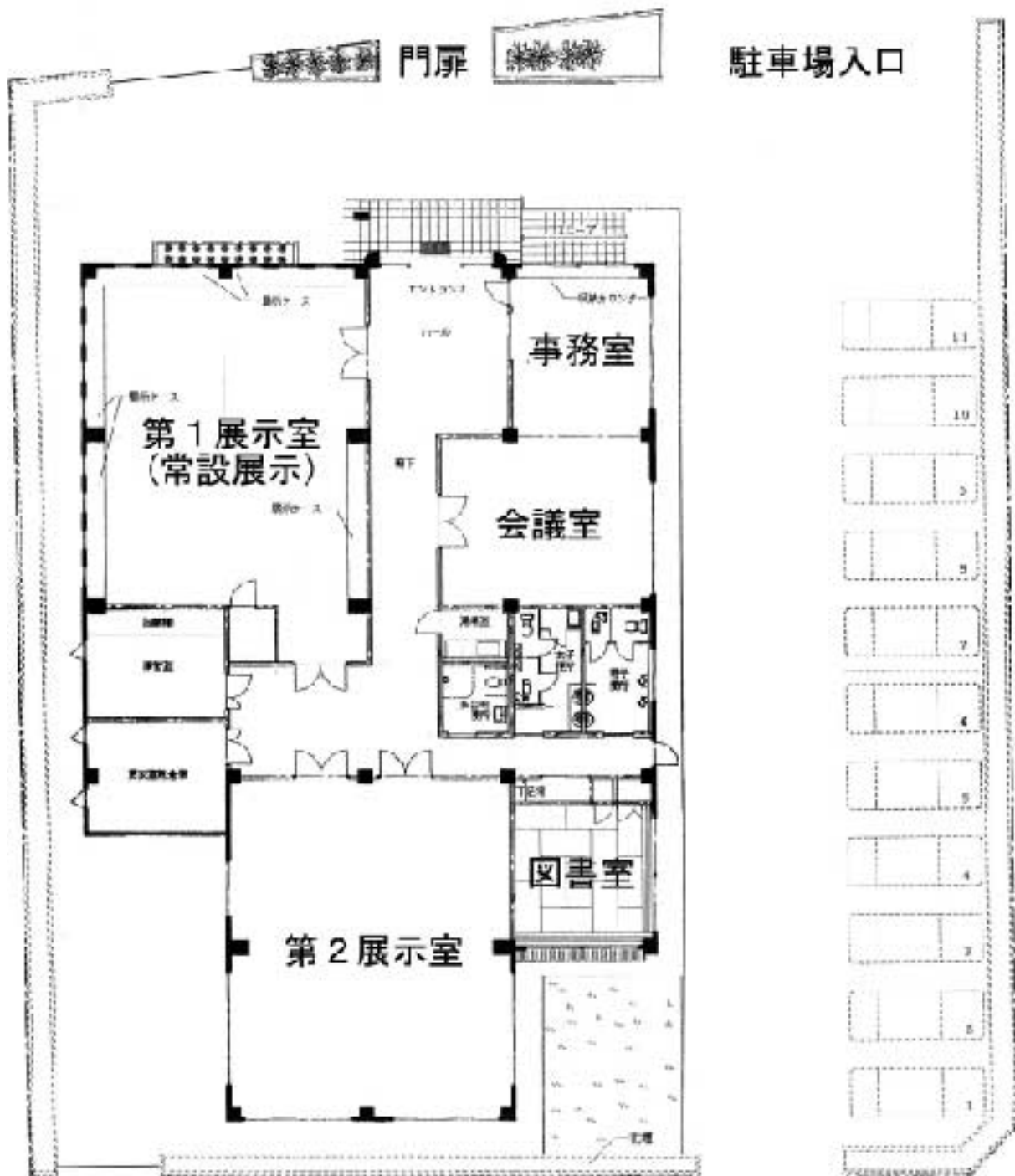
第1展示室 : 130 m²

第2展示室 : 120 m²

保管室 : 20 m²

図書室 : 30 m²

会議室 : 45 m²



3 事業概要

(1) 展示活動

① 第2回「戦争と子どもたち」展

戦前から沖縄戦当時の子どもたちの生活や学校教育などに焦点をあて、子どもたちの置かれていた環境がどのようなものであったかを取り上げた。また、現在も世界各地で起きている紛争と、その地域で生活する子どもたちについても紹介した。

[期間] 平成25年6月8日(土)～7月7日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] ア 戦争と子どもたち(沖縄戦)

イ 紛争と子どもたち(世界の紛争問題)

[入場者] 862名



② 夏休み企画展「八重山の小さな生きものたち」

自然に親しむ機会が増える夏休み期間中に、身近にいながら、なかなか目を向けることがない、八重山のヘビ、カエル、トカゲ、貝、カニ、鳥等の小さな生き物たちに焦点を当て、写真パネルと解説により紹介した。

[期間] 平成25年8月1日(木)～9月1日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] ア 八重山に生息する、ヘビ、カエル、トカゲ、貝、カニ、鳥などの紹介

イ イリオモテヤマネコの生態と、ロードキルの状況について紹介

[入場者] 344名



③ 「絵と絵本で語り継ぐ沖縄戦」展

主に米軍の記録などで伝えられる沖縄戦を、攻撃された側の目線で伝えるために、沖縄戦の絵と絵本を展示した。戦争マラリア、空襲、学徒動員、海外での体験などの絵と絵本を展示し映像の上映も行った。

[期間] 平成25年10月25日(金)～11月24日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] 沖縄戦の絵と絵本

[入場者] 417名



④ 第14回特別企画展「ハワイ日系人が見た戦争と沖縄」(本館移動展)

戦前・戦中・戦後と、日米の双方に深くかかわったハワイウチナーンチュ移民を取り上げ、戦争の愚かさや国境を越えた人間の尊厳を通して平和について考える企画展とする。

[期間] 平成26年1月16日(木)～2月26日(水)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] 第1部 戦前のハワイ移民

第2部 日系二世が見た沖縄戦

第3部 戦後の復興と日系ハワイ移民たちの支援

[入場者] 472名



(2) 平和教育活動

① 学校教員向け見学説明会

学校で平和活動が活発に行われる6月を前に、学校教員を対象に、館内の展示解説、利用や活用方法等を説明し、学校の利用促進を図った。

[日時] 平成25年6月4日(火)～6月6日(木)

[場所] 八重山平和祈念館

[参加者] 28名(初任者教員及び初任研担当教員)



② 児童福祉週間ビデオ上映会

児童福祉週間関連事業の一環として、児童生徒の観覧無料期間に合わせて戦争関係のビデオ上映を行い、平和について考える機会とした。

[日時] 平成25年5月5日(日)～6日(月)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 28名



③ 慰霊の日 ビデオ上映会

沖縄慰霊の日にあたり、平和とは何かを考えさせる映画を上映することで、児童生徒への平和教育への一環とした。

[日時] 平成25年6月23日(日)
[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室
[入場者] 17名

④ 第23回 児童・生徒の平和メッセージ展

本館が主催し応募した、児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の優秀作品を展示し、「児童・生徒の平和メッセージ」を発信する機会とした。

[期間] 平成25年7月17日(水)～7月28日(日)
[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室
[入場者] 190名



⑤ 夏休み平和学習会（自由研究相談室、アニメ上映会及び体験コーナー）

夏休みの平和学習の場として、自由研究等に主体的に取り組む児童生徒への支援を行った。

[期間] 平成25年8月1日(木)～9月1日(日)

[場所] 八重山平和祈念館

[内容] ア 夏休み自由研究相談室

イ 体験学習コーナー

(「玩具、民具を作ろう!」、「マラリアについて学ぼう!」)。

ウ 夏休みアニメ上映会

[参加者] 59名



⑥ 「子や孫につなぐ平和のウマイ事業」報告展示会

平成24年度から行われている「子や孫につなぐ平和のウマイ事業」の成果報告を、今回八重山でも行い、350件の収録の内、八重山会場では約40点を展示した。証言のパネル化、冊子化した証言集を手にとれる形で展示、収録映像をモニターで流し報告を行った。

[期間] 平成25年10月10日(木)～10月20日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 119名

⑦ 「各学校の平和学習の取り組み」紹介

各学校が取り組んでいる平和学習について知ってもらうため、八重山地域の小・中・高校生が平和学習で作成した、絵、新聞、作文、メッセージ等の展示を行った。

[期間] 平成25年10月25日(金)～11月24日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示

[入場者] 417名

⑧ 児童・生徒の職場体験

児童・生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、八重山平和祈念館で2名の児童・生徒を受け入れた。

[期間] 平成25年6月27日(木)

ジョブシャドウイング 石垣小学校 1名

平成25年7月24日(水)

インターンシップ 八重山商工高校 1名

(3) 調査研究活動

① 聞き取り・現地調査等

企画展や特別企画展の充実、戦争マラリアや八重山地域の戦争に関する認識を深めるため、資料収集に合わせて体験者への聞き取り調査や、現地調査を実地した。



[対象] 戦争体験や企画に関する人や場所等。

[内容] 平成25年4月20日(土)、4月22日(月) 戦前～戦後の体験の聞き取り

平成25年6月24日(月) 第2回 石垣島戦跡巡り(銃眼、特攻艇、白水など)

平成25年12月9日(月) 西表島戦跡巡り(宇多良炭鉱、避難壕、忘勿石など)

平成25年12月26日(木) 南洋群島での体験の聞き取り、資料収集

平成26年2月24日(月) 波照間島戦跡巡り(学童慰霊碑、最南端の平和の碑など)

月別入館者数 平成25年度 八重山平和祈念館

	常設展示室(第1展示室)												第2展示室 企画展等 入館者数 ※入場無料			
	個人入館者数						団体入館者数							入館者総数		
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計				
2013年 4月	125 (11)	25 (10)	150 (21)	36 (7)	85 (0)	121 (7)	161 (18)	110 (10)	271 (28)	0						
2013年 5月	102 (19)	14 (11)	116 (30)	10 (10)	150 (150)	160 (160)	112 (29)	164 (161)	276 (190)	28						
2013年 6月	236 (95)	99 (91)	335 (186)	57 (35)	536 (534)	593 (569)	293 (130)	635 (625)	928 (755)	808						
2013年 7月	132 (10)	22 (4)	154 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	132 (10)	22 (4)	154 (14)	244						
2013年 8月	160 (14)	85 (36)	245 (50)	11 (11)	34 (34)	45 (45)	171 (25)	119 (70)	290 (95)	335						
2013年 9月	161 (2)	9 (0)	170 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	161 (2)	9 (0)	170 (2)	172						
2013年 10月	136 (29)	7 (3)	143 (32)	9 (4)	87 (0)	96 (4)	145 (33)	94 (3)	239 (36)	271						
2013年 11月	212 (21)	21 (11)	233 (32)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	212 (21)	21 (11)	233 (32)	265						
2013年 12月	181 (7)	23 (10)	204 (17)	30 (2)	104 (0)	134 (2)	211 (9)	127 (10)	338 (19)	0						
2014年 1月	188 (5)	15 (5)	203 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	188 (5)	15 (5)	203 (10)	208						
2014年 2月	251 (18)	15 (5)	266 (23)	20 (0)	0 (0)	20 (0)	271 (18)	15 (5)	286 (23)	264						
2014年 3月	148 (3)	22 (4)	170 (7)	14 (5)	131 (0)	145 (5)	162 (8)	153 (4)	315 (12)	0						
合計	2,032 (234)	357 (190)	2,389 (424)	187 (74)	1,127 (718)	1,314 (792)	2,219 (308)	1,484 (908)	3,703 (1,216)	2,595						

()は内数で無料入場者数

X 沖縄県平和祈念資料館友の会

1 活動内容

- (1) 県内学校及び地域における平和学習支援
- (2) 平和講話及び絵本の読み聞かせ
- (3) ポイントガイド（平和祈念公園地域の案内等）
- (4) 戦跡案内
- (5) バス乗車
- (6) その他

2 申込方法

別紙「派遣依頼申込書」に必要事項を記入の上、全行程を含む旅行行程表を添えて下記の事務局まで、FAXまたは郵送してください。

事務局：沖縄県平和祈念資料館友の会

所在地：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の1

TEL：098-997-3844（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

FAX：098-997-3947（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

*学校名、団体名、連絡窓口、担当者名には必ずフリガナをつけてください。

*決定通知は事務局よりFAXでお知らせします。

*電話での申込及び変更には応じられませんのでご了承ください。

3 申込条件

- (1) 申込締切は原則として2ヶ月前とします
- (2) 平和学習の団体については事前学習を実施してください。
- (3) 協力金は次のとおりです。

県内学校及び地域における学習支援	1回につき	5,000円
平和講話	1回につき	10,000円
ポイントガイド	1回につき	5,000円
バス乗車	1回につき	10,000円

※協力金は終了後直接本人にお渡しください。

- (4) 事故に関しまして沖縄県平和祈念資料館友の会は一切責任を負いません。

4 平成25年度 講話・ガイド活動実績件数

◎平成25年4月～平成26年3月までの活動状況

(県外)

団体	実施件数	実施人数	派遣講師
高等学校	79	13,374	79
中学校	64	5,396	64
小学校	1	77	1
その他	19	293	19
計	163	19,140	163

(県内)

高等学校	1	1 9 9	1
中学校	5	2, 2 5 5	5
小学校	1 3	5, 8 2 0	1 3
その他	6	1 0 8	6
合計	2 5	8, 3 8 2	2 5

(県外・県内)

合計	1 8 8	2 7, 5 2 2	1 8 8
----	-------	------------	-------

5 平成25年度 活動内容

- (1) 2階常設展示室の解説員 (74回)
- (2) 協力事業「平和祈念堂」：清明祭への協力
- (3) 友の会総会：平成25年5月4日(土)
- (4) 学習会1：平成25年6月1日(土)
戦跡フィールドワーク：「徒歩で行く安里から首里への道」
- (5) 学習会2：平成25年6月22日(火)
戦跡フィールドワーク：激戦の高地を歩く
- (6) 学習会3：平成25年11月30日(土)
沖縄戦講座「ハワイ日系二世兵士の見た戦争と沖縄」
- (7) 学習会4：平成25年12月27日(土)
講演会：「現場教職員のための平和学習講演会」
- (8) 協力事業：平成25年4月27日(土)「平和祈念財団」鯉のぼり掲揚式への協力
- (9) 協力事業：平成25年10月9日(火)「平和祈念財団」平和祈念公園愛護活動への協力



フィールドワーク：首里地区



ガイド：真栄平の壕

XI 関係条例・規則・要綱

1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（昭和49年沖縄県条例第30号）の全部を改正する。

〔設置〕

第1条 第二次世界大戦で貴い命を失ったすべての人々に哀悼の意を表すとともに、悲惨な戦争の教訓を後世に伝え、世界の恒久平和の実現に寄与するため、沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）及び平和の礎を設置する。

2 平和祈念資料館に分館として八重山平和祈念館を置く。

〔位置〕

第2条 平和祈念資料館（分館を除く。）及び平和の礎の位置は、糸満市字摩文仁とする。

2 八重山平和祈念館の位置は、石垣市新栄町とする。

〔事業〕

第3条 平和祈念資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 沖縄戦及び平和に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 沖縄戦に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 沖縄戦における戦争体験の継承に関すること。
- (4) 平和に関する講演会、学習会等の平和を考える場の提供に関すること。
- (5) その他設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

〔平和祈念資料館の利用の禁止又は制限〕

第4条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和祈念資料館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 資料又は建物若しくは工作物若しくは附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔観覧料〕

第5条 平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納めなければならない。

2 平和祈念資料館において特別に展示する資料等を観覧させる場合の当該資料を観覧する者は、前項の規定にかかわらず、500円を超えない範囲内でその都度知事が定める額の観覧料を納めなければならない。

3 前2項の観覧料は、観覧の際に納めなければならない。

〔使用の許可〕

第6条 別表第2に掲げる平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ知事の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「使用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、施設等の管理上必要と認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。

3 知事は、第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可をしないことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 公益を害するおそれがあるとき。
- (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき。

〔使用料〕

第7条 使用者は、別表第2に定める使用料を納めなければならない。

2 前項の使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。

〔観覧料又は使用料の減免〕

第8条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料を減額し、又は免除することができる。

〔観覧料及び使用料の不還付〕

第9条 既に納付した観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

〔使用権の譲渡等の禁止〕

第10条 使用者は、施設等を使用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

〔許可の取消し等〕

第11条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消し、又は施設等の使用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (3) 許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 第6条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

〔原状回復義務〕

第12条 使用者は、施設等の使用が終了したとき、又はその使用の許可が取り消されたときは、直ちにこれを原状に回復して返還しなければならない。

〔平和の礎の管理〕

第13条 平和の礎の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事の指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

〔指定管理者の業務〕

第14条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第18条の規定による利用の禁止又は制限に関する業務
- (2) 平和の礎の工作物及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、平和の礎の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

〔指定管理者の指定の申請〕

第15条 第13条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、知事に提出しなければならない。

〔指定管理者の指定〕

第16条 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に平和の礎の管理を行うことができると認められるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、平和の礎の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、平和の礎の設置目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

〔指定管理者の指定等の告示〕

第17条 知事は、前条の規定により指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

2 前項の規定は、法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

[平和の礎の利用の禁止又は制限]

第18条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、平和の礎の観覧を拒否することができる。

- (1) 工作物又は附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

[損害の賠償等]

第19条 平和祈念資料館の資料若しくは建物若しくは附属設備又は平和の礎の工作物若しくは附属設備を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又は相当の代価をもって賠償しなければならない。ただし、知事がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

[事業報告書の提出]

第20条 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

[運営協議会]

第21条 平和祈念資料館の運営に関する重要事項について協議するため、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。

2 運営協議会の組織、運営その他必要な事項は、規則で定める。

[規則への委任]

第22条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）

別表第1（第5条関係）

区 分		観 覧 料	
		個 人	20人以上の団体
平和祈念資料館 (分館を除く。)	大 人	300円	1人につき 240円
	小 人	150円	1人につき 100円
八重山平和祈念館	大 人	100円	1人につき 70円
	小 人	50円	1人につき 35円

備考

- 1 この表において「大人」とは、学生を除く成年者をいう。
- 2 この表において「小人」とは、学齢に達しない者を除く未成年者又は学生をいう。

別表第2（第7条関係）

1 施設使用料

区 分		単 位	使 用 料
平和祈念資料館 (分館を除く。)	ホ ー ル	1時間につき	1,570円
	展 示 室	1日につき	4,520円
	大会議室	1時間につき	620円
	中会議室	1時間につき	430円
	小会議室	1時間につき	190円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき	100円

2 附属設備使用料

種 別	単 位	使 用 料
舞台器具	1回1点又は一式につき	700円以内で知事が定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	500円以内で知事が定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	460円以内で知事が定める額
そ の 他	1回1点又は一式につき	1,260円以内で知事が定める額

備考

- 1 許可された使用時間を超過して使用する場合は、追加使用料を徴収する。この場合において、当該超過して使用した時間が1時間未満であるとき又は当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、その使用時間又はその端数時間を1時間として計算する。
- 2 ホールを練習、準備のため専用して使用する場合の使用料の額は、この表の区分に従い、当該区

分に定める額の100分の30に相当する額とする。

- 3 1及び2において算出された使用料の額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。
- 4 施設の冷房を使用する場合は、その実費に相当する額を使用料として別に徴収する。

2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関する規則（昭和49年沖縄県規則第57号）の全部を改正する。

〔趣旨〕

第1条 この規則は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成12年沖縄県条例第11号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

〔開館時間〕

第2条 沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、平和祈念資料館に展示している資料等の観覧のための展示室への入室は午後4時30分までとする。

2 知事は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する開館時間外においても平和祈念資料館を使用させることができる。

〔休館日〕

第3条 平和祈念資料館の休館日は、次のとおりとする。

ただし、第1号に規定する休館日は、八重山平和祈念館に限る。

(1) 定期休館日 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（元日を除く。）又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号、以下「慰霊の日を定める条例」という。）第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日を除く。）

(2) 年始休館日 1月1日から同月3日まで

(3) 年末休館日 12月29日から同月31日まで

(4) 臨時休館日 特別の事情により知事が休館を必要と認めた日

2 前項第4号の臨時休館日は、あらかじめ公告するものとする。ただし、天災地変その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

〔観覧券の交付〕

第4条 知事は、平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者が、条例別表第1に定める観覧料を納付した場合は、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

〔観覧料の免除〕

第5条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条の規定により、観覧料を免除する。

(1) 慰霊の日を定める条例第2条に規定する慰霊の日に観覧する場合

(2) 沖縄県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教職員で、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合

(3) 平和祈念資料館の広報宣伝に資すると認められる取材のために観覧する場合

(4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定に基づいて身体障害者手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定に基づいて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(7) 前6号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める場合

2 前項第2号、第3号及び第7号の規定により、観覧料の免除を受けようとする者は、観覧料免除申請書（第2号様式）を知事に提出し、承認を受けなければならない。

3 第1項第4号、第5号及び第6号に該当する者が観覧料の免除を受けようとするときは、身体障害者手帳又は療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

〔使用許可の申請〕

第6条 条例第6条第1項の規定により、平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）

の使用許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書（第3号様式）を知事に提出しなければならない。

- 2 前項の申請書は、ホールについては使用しようとする日（引き続き2日以上使用する場合は、その最初の日。以下同じ。）の6月前から1週間前まで、ホール以外の施設については使用しようとする日の3月前から3日前までの期間内に提出しなければならない。
- 3 知事は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、前項に定める期間を変更することができる。

〔使用許可書の交付〕

第7条 知事は、使用許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用許可書（第4号様式、以下「使用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

〔使用許可の変更又は取消し〕

第8条 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用許可を得た事項を変更しようとするときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書（第5号様式）に使用許可書を添えて、知事に提出しなければならない。

- 2 知事は、使用の変更の許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書（第6号様式）を使用者に交付するものとする。
- 3 使用者は、使用の取消しをしようとするときは、使用許可書（前項の沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書を含む。）を添えて、沖縄県平和祈念資料館使用取消届（第7号様式）を知事に提出しなければならない。

〔附属設備等の使用料〕

第9条 条例別表第2第2号の表に規定する知事が定める額及び同表備考4の規定により実費に相当する額を使用料として別に徴収する額は、別表のとおりとする。

〔使用料の納付〕

第10条 平和祈念資料館の施設使用料は、使用許可書の交付を受ける際に、納付しなければならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

- 2 平和祈念資料館の附属設備使用料は、知事が定める日までにその全額を納付しなければならない。
- 3 条例第7条第2項ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとする。
 - (1) 条例別表第2備考1に規定する使用料を納付するとき。
 - (2) 国又は地方公共団体が使用するとき。
 - (3) 知事がやむを得ないと認めるとき。

〔使用料の返還〕

第11条 条例第9条ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとし、返還する使用料の額は、当該各号に定める額とする。

- (1) 天災その他使用者の責めに帰すことができない事情により使用できなかったとき。
当該使用料の全額
 - (2) 使用者が、ホールを使用しようとする日前30日までに使用の取消しを届け出たとき。
当該使用料の5割。
 - (3) 使用者がホール以外の施設を使用しようとする日前15日までに使用の取消しを届け出たとき。
当該使用料の5割
- 2 条例第9条ただし書の規定により使用料の返還を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書（第8号様式）を知事に提出しなければならない。

〔使用料の減免〕

第12条 条例第8条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合は、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるとおり減額し、又は免除するものとする。

- (1) 沖縄県が使用するとき。 免除
- (2) 国又は地方公共団体若しくは公共的団体（以下「国等」という。）が、沖縄県と共催し、平和に

関する事業を行うために使用するとき。 免除

(3) 国等が、平和に関する事業を行うために使用するとき。 5割

(4) 前3号に掲げるもののほか、知事が特に必要があると認めるとき。 知事が定める割合

2 条例第8条の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書(第9号様式)を知事に提出しなければならない。

3 知事は、使用料の減額又は免除を承認したときは、沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書(第10号様式)を使用者に交付するものとする。

[使用方法等の事前打合わせ]

第13条 使用者は、事前に係員と施設等の使用方法、遵守事項その他必要事項を打ち合わせなければならない。

[使用者の遵守事項]

第14条 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。

(2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。

(3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。

(4) 施設等は、善良なる管理者の注意をもって管理すること。

[行為の制限]

第15条 使用者又は入場者は、平和祈念資料館において、次に掲げる行為をしてはならない。

(1) 火災、爆発その他危険を生じるおそれのある行為

(2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為

(3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為

(4) 許可を受けないで行う広告類の掲出又は配布

(5) 許可された場所以外の場所への立入り

(6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙

(7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為

(8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

[損傷等の届出]

第16条 使用者は、その使用に際し、施設等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、直ちにその旨を係員に届け出て、その指示を受けなければならない。

[使用後の点検]

第17条 使用者は、施設等の使用を終えたときは、係員の点検を受けなければならない。

[寄贈及び寄託]

第18条 知事は、戦争及び平和に関する資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、あらかじめ資料寄贈申込書(第11号様式)又は資料寄託申請書(第12号様式)を提出しなければならない。

3 前項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

[受領証の交付]

第19条 知事は、前条第1項の規定により寄託を受けたときは、寄託者に対し、寄託物受領証(第13号様式)を交付するものとする。

[寄託資料の保管]

第20条 第18条第1項の規定により寄託された資料の管理は、平和祈念資料館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

[寄託資料の返還]

第21条 寄託資料は、寄託期間の終了、寄託者の請求又は平和祈念資料館の都合により返還できるものとする。

2 寄託者は、前項の規定により寄託資料を返還する場合は、寄託物受領証も同時に返付しなければならない。

〔資料の貸出〕

第22条 知事は必要と認めるときは、条件を付して資料の館外貸出しを許可することができる。

2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ資料貸出申請書（第14号様式）を知事に提出しなければならない。

〔許可証の交付〕

第23条 知事は、資料の館外貸出しを許可した場合は、資料貸出許可証（第15号様式）を交付するものとする。

〔貸出資料の保管〕

第24条 第22条第1項の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）が責任をもって保管しなければならない。

〔貸出資料の返還〕

第25条 利用者は、貸出期間が終了したときは、貸出資料を速やかに返還しなければならない。

2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。

3 利用者は、前2項の規定により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

〔指定管理者の指定申請書等〕

第26条 条例第15条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第16号様式）によるものとする。

2 条例第15条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

(1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書

(2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市町村長が発行するものに限る。）

(3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類

(4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）

(5) 役員の名、住所及び履歴を記載した書類

(6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

〔事業報告書〕

第27条 条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

(1) 平和の礎の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況

(2) 業務に係る収支状況

(3) 前2号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

〔運営協議会の組織等〕

第28条 条例第21条に規定する沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験者、教育関係者等のうちから知事が委嘱し、又は任命する。

3 運営協議会の委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。

4 運営協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。

5 会長は運営協議会を代表し、会務を総理する。

6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

7 運営協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

8 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

9 会議は公開とする。ただし、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

10 運営協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

11 運営協議会の委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

- 12 運営協議会の庶務は、平和祈念資料館において処理する。
- 13 その他運営協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

〔補則〕

第29条 この規則に定めるもののほか、平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）

平成18年3月31日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成19年3月23日一部改正（平成19年4月1日施行）

別表（第9条関係）

1 附属設備使用料

種別	品目	単位	使用料
ホール	舞台器具	演台	1台 300円
		司会者卓	1台 150円
		花台	1台 100円
		金びょうぶ	1双 700円
	音響器具	ダイナミックマイク	1本 230円
		ワイヤレスマイク	1本 450円
		カセットテープレコーダー	1台 300円
		CDプレーヤー	1台 500円
		ビデオデッキ（VHS）	1台 500円
		レーザーディスクプレーヤー	1台 500円
	照明器具	ボーダーライト（150W×48灯）	1列 250円
		サスペンションライト（500W×12台）	1列 300円
		シーリングスポットライト（500W×15台）	1列 460円
		アッパーホリゾンライト（150W×60灯）	1列 360円
		ローアホリゾンライト（150W×60灯）	1列 300円
		フットライト（60W×48灯）	1列 100円
		フォロースポットライト（1KW）	1式 100円
	その他	映写機16mm	1台 1,260円
		スライドプロジェクター	1台 520円
会議室	音響器具	ダイナミックマイク	1本 230円
		ワイヤレスマイク	1本 450円
		カセットテープレコーダー	1台 300円
		CDプレーヤー	1台 400円
		ビデオデッキ（VHS）	1台 400円
	その他	ビデオプロジェクター	1台 1,260円
その他	オーバーヘッドプロジェクター	1台 520円	
展示室	その他	展示ケース（大）	1台 1,000円
		展示ケース（小）	1台 500円

備考 ホール及び会議室の附属設備使用料は、1ステージごとに徴収する。ただし、長時間連続して使用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 施設冷房使用料

区	分	単位	使用料
平和祈念資料館 （分館を除く）	ホール	1時間につき	2,110円
	展示室	1時間につき	890円
	大会議室	1時間につき	700円
	中会議室	1時間につき	460円
	小会議室	1時間につき	110円
八重山平和祈念館	展示室	1時間につき	100円

3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱

〔設置〕

第1条 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第28条第13項の規定により、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、八重山平和祈念館部会（以下「部会」という。）を設置する。

〔任務〕

第2条 部会は、八重山平和祈念館の運営に関する重要事項について調査、審議し、その結果を運営協議会に報告する。

〔構成〕

第3条 部会は、運営協議会副会長を部会長とする3人の運営協議会の委員（以下「部会委員」という。）で構成する。

2 部会委員は、運営協議会で選任する。

3 部会委員の任期は、運営協議会の委員の在任期間とする。

〔部会長〕

第4条 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

2 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名した部会委員がその職務を代理する。

〔会議〕

第5条 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、必要があると認めるときは、部会に専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

3 会議は、公開とする。ただし、出席した者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

〔秘密の保持〕

第6条 部会委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

〔補則〕

第7条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附 則

この要綱は、平成12年12月6日から施行する。

Ⅶ 資 料

各種申請書・要項

沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

沖縄県平和祈念資料館使用許可条件

- 1 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。
 - (1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。
 - (2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。
 - (3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。
 - (4) 施設等は、善良なる管理者の注意を持って管理すること。

- 2 使用者又は入場者は、次の各号に掲げる行為をしてはならない。
 - (1) 火災、爆発その他危険を生じおそれのある行為
 - (2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為
 - (3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為
 - (4) 許可を受けないで行う広告類の提出又は配布
 - (5) 許可された場所以外の場所への立入り
 - (6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙
 - (7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為
 - (8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

第2号様式（第5条関係）

観覧料免除申請書

平成 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電 話 番 号

次のとおり 沖縄県平和祈念資料館（分館を除く。）の観覧料の免除を申請します。
八 重 山 平 和 祈 念 館

観覧の目的	
観覧者数	人
観覧の日時	平成 年 月 日（ ） 時 分 から 時 分 まで
引率者氏名 又は 観覧者氏名	
備 考	

第3号様式（第6条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書

平成 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者 〇
住 所
団 体 名
代表者氏名
電 話 番 号

印

次のとおり使用したいので申請します。

催物の名称					
使用目的					
催物の内容					
使用施設	使 用 日 時				人 員
ホ ー ル	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分～			
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
展 示 室	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分～			
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
大 会 議 室	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分～			
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
中 会 議 室	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分～			
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
小 会 議 室	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分～			
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
八重山平和 祈念館展示室	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分～			
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
使 用 附 属 設 備					
入 場 料	無 料 有 料 (円)	指定席 整理券	自由席 会員券	入場予定人員 名	
使用責任者 氏 名	使用責任者 の電話番号				
	施設使用料	付属設備使用料	冷房使用料	使用料減免額	計
使 用 料	円	円	円	円	円

(注) 太線の枠内は、記入しないでください。

第9号様式（第12条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書

平成 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者 氏

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電 話 番 号

次のとおり使用料の減額・免除を申請します。

催物の名称	
使用目的	
催物の内容	
使用期間	平成 年 月 日（ ） 時 分から 平成 年 月 日（ ） 時 分まで
減額・免除を申請する理由	平和事業に利用するため
備 考	

（注）この申請書は、使用許可申請書と同時に提出すること。

第11号様式（第18条関係）

資料寄贈申込書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電 話 番 号

次の資料を 沖縄県平和祈念資料館(分館を除く。) に寄贈いたします。
八 重 山 平 和 祈 念 館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	

寄 贈 受 諾 証

申込みのあった資料の寄贈を受諾します。
ただし、寄贈を受けた資料は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例
施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第18条第3項の規定により返還されません。

年 月 日

沖縄県知事

印

第12号様式（第18条関係）

資料寄託申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電 話 番 号

次の資料を 沖縄県平和祈念資料館(分館を除く。) に寄託いたします。
八 重 山 平 和 祈 念 館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
寄託期間	年 月 日から 年 月 日まで

年 月 日

展示資料等の撮影・複製・掲載・放映許可申請書

沖縄県平和祈念資料館長 殿

沖縄県平和祈念資料館所蔵の展示資料等の撮影・複製・掲載・放映について下記のとおり許可されたく申請します。撮影・複製にあたっては、沖縄県平和祈念資料館のご指示を遵守し、掲載及び放映については、著作権法に定める一切の責任を私において負担することはもちろんのこと、沖縄県平和祈念資料館に対していささかのご迷惑もおかけしないことを誓約いたします。

所在地又は住所（郵便番号・電話番号を明記）

会社名（団体）
責任者名又は担当者名

印

記

- 1 目的
- 2 申請資料名
- 3 掲載書名等及び発行予定日（放映等にあたってはその番組名と放送予定日）
- 4 撮影日時
- 5 撮影担当者

許可条件 （1）上記目的以外に使用しないこと。
（2）掲載・放映に際しては「沖縄県平和祈念資料館提供」の旨を表示すること。
（3）使用目的の完了後、すみやかに成果品を提供すること。
（4）資料に記載されている情報のうち、プライバシーや個人情報の保護に十分に配慮し、違法又は人権を侵害する利用となる場合には、文書資料の内容をそのまま公にしないこと。

資料貸出要項

1 貸出資料

- 写真パネル（沖縄戦172点 サイパン・テニアン戦29点）
- 児童・生徒の平和メッセージ図画・作文・詩入選作品パネル
- 世界人権宣言絵画パネル一式（35点）
- 沖縄戦実物資料（20種類）

2 貸出条件（条例施行規則第22、23条）

- (1) 貸出資料は、当館が適切と認める公共団体等の展示等で利用・活用されること。
- (2) 貸出申請の際には、身元確実な保証人がいなければならない。
- (3) 貸出申請者は、この許可証を紛失したときは、速やかに届け出なければならない。
- (4) 貸出申請者は、貸出資料を他人に譲渡し、または貸与してはならない。
- (5) 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。
- (6) 貸出申請者は、貸出資料の原型に変更を加えてはならない。
- (7) 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、または著しく汚損し、もしくはき損した場合は、これを原型に復し、または相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。

3 特記事項

- (1) 貸出資料数は、原則として20点以内とする。
- (2) 資料貸出期間は、原則として1ヶ月以内とする。
- (3) 資料貸出の申請は、原則として貸出日の2週間前までに行うこと。
- (4) 資料の貸出は無料とする。但し、貸出に係る輸送等の経費は、借受人の負担とする。
- (5) 資料の輸送は、原則として専門的技量を有する輸送業者扱いとし、借受人が手配すること。輸送業務は、梱包から開梱まで含むこと。
- (6) 借受人は貸出条件を遵守すること。条件に違反した場合には許可を取り消すことがある。その際に生じた損害については、当資料館はその責任を負わない。
- (7) 貸出資料の利用によって著作権法に係る問題が生じたときは、当資料館はその責任を負わない。
- (8) 借受人は貸出資料の利用状況について、「開催報告書」を提出すること。

4 提出書類

- (1) 資料貸出申請書（14号様式）
- (2) 資料貸出明細書
- (3) 事業企画書（実施要項等）
- (4) 開催報告書（指定用紙）

*申請はあらかじめFAXで行い、
後日原本を郵送して下さい。

連絡先：沖縄県平和祈念資料館 〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁614-1 Tel 098-997-3844 Fax 098-997-3947 URL http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/

第14号様式（第22条関係）

資料貸出申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

電 話 番 号

印

保証人

住 所

氏 名

電 話 番 号

印

沖縄県平和祈念資料館(分館を除く。)の資料について、貸出しを申請します。
八 重 山 平 和 祈 念 館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
保 管 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
貸出申請理由	

戦争体験証言ビデオ貸出要項

1 目的

編集済み戦争体験証言ビデオ（以下、「証言ビデオ」という。）を貸し出すことによって、県内外の人々により深く、沖縄戦の実相と平和の尊さを知ってもらう。

2 利用方法

- (1) 利用者は「貸出用証言ビデオリスト」をもとに、「証言ビデオ貸出申請書」（以下、「申請書」という。）を提出、又は沖縄県電子申請システムを使用して貸出の申請を行う。
- (2) 職員は申請書を確認した後、「証言ビデオ貸出許可証」（以下、「許可証」という。）を証言ビデオと一緒に申請者に交付する。
- (3) 利用者は返却時に証言ビデオと許可証を一緒に返却する。

3 貸出期間

原則として2週間以内とする。

4 貸出本数

原則として5本以内とする。

5 貸出条件

- (1) 申請書の目的以外に使用しないこと。
- (2) 転貸借をしないこと。
- (3) 複製をしないこと。
- (4) 営利目的に使用しないこと。
- (5) 滅失・汚損・き損した場合は、相当の代価をもって損害を賠償すること。

6 その他

証言ビデオの貸出は無料とする。但し、郵送又は宅配便利用の際は申請者負担とする。

沖縄県平和祈念資料館

〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1

TEL 098-997-3844

FAX 098-997-3947

戦争体験証言ビデオ貸出申請書

平成 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館 殿

団体名

郵便番号

住 所

電話番号

申請者名

印

戦争体験証言ビデオの貸出しを申請します。

1 目 的

2 期 間（2週間以内を原則とする。）

平成 年 月 日（ ）～平成 年 月 日（ ）まで

3 本 数（5本以内を原則とする。）

_____本

4 ビデオNo. _____

貸出条件

- (1) 申請書の目的以外に使用しないこと。
- (2) 転貸借をしないこと。
- (3) 複製をしないこと。
- (4) 営利目的に使用しないこと。
- (5) 滅失・汚損・き損した場合は、相当の代価をもって損害を賠償すること。

沖繩県立平和祈念資料館(旧館) 年度別入館状況

年度別	有 料 観 覧										無 料 観 覧 者	観 覧 者 数	開 館 日 数	一 日 平 均 観 覧 者 数	備 考	
	観 覧 料 種 別					出 身 別										計
	大人個人(%)	大人団体(%)	小人個人(%)	小人団体(%)	計	県内	県外	外国	計							
昭和50年度	13,784(75)	2,025(11)	1,759(9)	900(5)	18,468				18,468			18,468	248	74		
51年度	9,520(53)	4,200(23)	963(5)	3,408(19)	18,091				18,091			18,091	306	59		
52年度	10,480(54)	4,264(22)	818(4)	3,932(20)	19,494				19,494	2,553		22,047	307	72		
53年度	14,022(40)	4,855(14)	1,877(5)	14,097(41)	34,851				34,851			34,851	220	158		
54年度	22,288(41)	6,307(12)	3,600(7)	21,513(40)	53,708				53,708			53,708	305	176		
55年度	20,727(39)	5,830(11)	3,109(6)	23,762(44)	53,428	3,506	22,746	176	53,428			53,428	307	174		
56年度	20,215(34)	5,985(10)	3,367(6)	29,211(50)	58,778	33,671	24,797	310	58,778	1,786		60,564	304	199		
57年度	26,357(36)	7,077(10)	4,243(6)	34,584(48)	72,261	33,709	38,030	522	72,261	1,385		73,646	307	240		
58年度	26,359(35)	8,051(11)	4,827(6)	36,272(48)	75,509	34,795	40,029	685	75,509	1,981		77,490	307	252		
59年度	27,265(34)	9,203(11)	3,932(5)	39,791(50)	80,191	32,646	46,335	1,210	80,191	2,876		83,067	255	326		
60年度	29,888(31)	13,263(14)	4,701(5)	49,073(50)	96,925	34,993	60,371	1,561	96,925	2,698		99,623	306	326		
61年度	27,529(27)	13,364(13)	4,629(5)	54,622(55)	100,144	34,783	63,581	1,780	100,144	2,429		102,573	306	335		
62年度	40,566(34)	14,395(12)	5,441(5)	57,976(49)	118,378	33,298	83,019	2,061	118,378	4,875		123,253	306	403		
63年度	45,058(34)	16,719(13)	5,557(4)	63,910(49)	131,244	32,819	95,473	2,952	131,244	3,342		134,586	306	440		
平成元年度	35,325(31)	14,477(12)	7,016(6)	59,363(51)	116,181	27,941	84,600	3,640	116,181	5,663		121,844	307	397		
2年度	29,514(29)	12,281(12)	5,950(6)	52,511(52)	100,256	22,855	74,010	3,391	100,256	18,362		118,618	306	388		
3年度	26,687(30)	11,246(13)	5,279(6)	45,409(51)	88,621	20,182	64,938	3,501	88,621	8,893		97,514	305	320		
4年度	26,500(32)	9,778(12)	5,661(7)	40,021(49)	81,960	17,197	61,011	3,752	81,960	10,930		92,890	307	303		
5年度	22,667(28)	11,191(14)	5,683(7)	41,461(51)	81,002	15,272	62,130	3,600	81,002	4,045		85,047	310	274		
6年度	18,056(23)	9,161(12)	4,563(6)	48,084(60)	79,864	13,551	62,528	3,785	79,864	2,970		82,834	310	267		
7年度	70,319(45)	16,676(11)	13,837(9)	53,282(35)	154,114	45,214	104,854	4,046	154,114	7,647		161,761	308	525		
8年度	59,643(39)	16,393(11)	11,056(7)	64,840(43)	151,932	26,540	121,886	3,506	151,932	5,593		157,525	311	507		
9年度	62,485(35)	13,247(8)	10,137(6)	91,099(55)	176,968	20,128	153,889	2,951	176,968	6,940		183,908	310	593		
10年度	58,196(35)	10,647(6)	10,426(6)	89,965(53)	169,234	15,211	151,195	2,828	169,234	4,945		174,179	312	558		
11年度	59,654(34)	8,367(4)	9,952(6)	97,464(56)	175,437	12,128	160,724	2,585	175,437	4,810		180,247	295	611		
					2,307,039		104,723		2,411,762							

沖縄戦の実相にふれるたびに

戦争というものは

これほど残忍で、これほど汚辱にまみれたものはない
と回廊の下です

この なまじましい体験の前では
いかなる人でも

戦争を肯定し美化することは、できないはずだ

戦争をおこすのは たしかに 人間です

しかし それ以上に

戦争を許さない奴方がいなくなるのも
私たちが 人間 ではない下しようか

戦後このかた 私たちは

あくゆる戦争を抽き

平和な自由を建設せねば、と思いつけてきました

これが

あまりにも大きすぎた代償を払って得た

ゆするこのことではない

私たちの信条なのです

(沖縄県平和祈念資料館展示むすびのことば)

沖縄県平和祈念資料館年報 第14号

2014（平成26）年7月

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住 所：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の1

TEL 098-997-3844

FAX 098-997-3947

URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

E-mail webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp



日本平和博物館会連
ASSOCIATION OF JAPAN PEACE MUSEUMS

八重山平和祈念館（分館）

住 所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町 79 番地の3

TEL / FAX 0980-88-6161

E-mail yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp

